

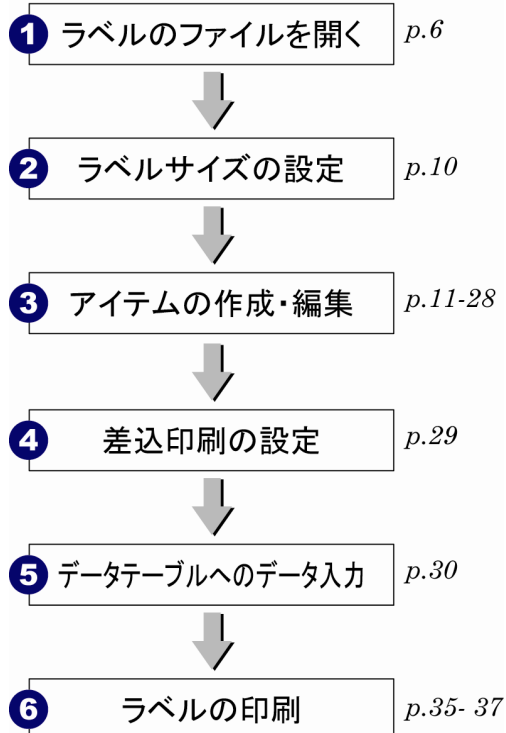
Label Design Software

OSP ラベルエキスパート

Ver. 1.2

ユーザーズマニュアル

作業の流れ



概要

OSP ラベルエキスパートの仕様	3
OSP ラベルエキスパートの仕様	3
必要なシステム構成	3
インストール	4
起動と終了	5
OSP ラベルエキスパートを起動する	5
OSP ラベルエキスパートを終了する	5

ラベルファイルの操作

ラベルを新規に作成する	6
ラベルを開く	6
ラベルを保存する	7
ラベルをコピーする	7
ラベルのファイル名を変更する	8
ラベルを削除する	8

ラベルのデザイン

ラベルデザイン画面	9
ラベルのサイズを設定する	10
表示サイズを変更する	10
線・四角・円を作成する	11
線・四角・円を作成する	11
線・四角・円の属性を設定する	11
文字を作成する	12
文字を作成する	12
文字の属性を設定する	12
文字データを入力する	13
日付を作成する	14
日付を作成する	14
日付の属性を設定する	14
日付の数値を設定する	14
ナンバリングを作成する	15
ナンバリングを作成する	15
ナンバリングの属性を設定する	15
ナンバリングの初期値を設定する	15
バーコードを作成する	16
バーコードを作成する	16
バーコードの属性を設定する	16
バーコードのデータを設定する	17
バーコードにナンバリングを設定する	17
バーコードのために桁揃えを設定する	18
画像を配置する	19
画像を配置する	19
画像の属性を設定する	19
背景を設定する	20
操作を取り消す・やり直す	20
アイテムリンクで他のデータを参照する	21
データを自動的に置換する	22

アイテムの編集	23
アイテムを選択する	23
複数のアイテムを選択する	23
選択を絞り込む	24
アイテムのサイズを変更する	24
アイテムを移動する	24
アイテムを整列させる	25
アイテムを均等に配置する	25
サイズを揃える	25
アイテムの重なりを変更する	26
アイテムを複製する	26
ラベルデザインの編集を禁止する	26
アイテムを削除する	27
アンカーを設定する	27
アイテムが印字されないようにする	28
アイテムの名前を変更する	28

差込印刷の設定

差込印刷とは	29
アイテムをデータテーブルにリンクさせる	30
レコードを作成する	30
フィールドにデータを入力する	30
レコードをコピーする	31
レコードを検索する	31
レコードを並べ替える	31
レコードを絞り込む	32
レコードを削除する	32
フィールドのデータを削除する	32
編集時にレコードをロックする	32
フィールドの表示順を変更する	33
フィールドの名前を変更する	33
データテーブルの編集を禁止する	33
フィールドを追加する	34
フィールドを削除する	34

ラベルの印刷

差込印刷をする	35
ラベルデザインを印刷する	36
印刷時にデータ変更し印刷する	37

その他の機能

データの書き出しと取り込み	38
データテーブルのデータを書き出す	38
データテーブルにデータを取り込む	39
環境設定	40
基本設定	40
印刷動作設定	40
禁止設定	41
表示設定	41
パスワード	41
ショートカットキー	41
サポートページを開く	41
索引	42

▪ Microsoft、Windows® および Windows NT® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 ▪ Celeron® はインテルコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

概要

OSP ラベルエキスパートの仕様

OSP ラベルエキスパートの仕様

文字(日付)アイテム 描画仕様	フォント種類(Windows®システムフォント)、フォントサイズ(高さ・幅(pt / mm))、文字間隔(mm)、行間隔(mm)、文字列配置(左詰め / 右詰め / センタリング / 均等割付 / 両端揃え)、行配置(上 / 中央 / 下) 境界線スタイル(線幅、線タイプ(実線(縁取り) / 実線(中央) / 点線 / 鎖線 / 二点鎖線)、線色) 背景スタイル(塗り潰し / 横線 / 縦線 / 斜線(右上) / 斜線(右下) / クロス / 網掛け、背景色、ブラシ色) 回転(0度 / 90度 / 180度 / 270度)
バーコードアイテム 描画仕様	種類(CODE39 / CODE39 (FULL ASCII) / CODE49 / CODE93 / CODE128 / JAN8 / JAN13 / EAN128 / ITF / POSTNET5 / POSTNET9 / POSTNET11 / UPC-A / UPC-E / UPC-AddOn2 / UPC-AddOn5 / NW-7(CODABAR) / カスタマバーコード / PDF417 / QR Code モデル 2) 目視文字(フォント種類(Windows®システムフォント)、フォントサイズ(高さ・幅)、配置設定) 回転(0度 / 90度 / 180度 / 270度)
線・四角・円アイテム 描画仕様	境界線スタイル(線幅、線タイプ(実線(縁取り) / 実線(中央) / 点線 / 鎖線 / 二点鎖線)、線色) 背景スタイル(塗り潰し / 横線 / 縦線 / 斜線(右上) / 斜線(右下) / クロス / 網掛け、背景色、ブラシ色) 角丸半径指定(mm)
画像アイテム 描画仕様	種類(BMP / EMF / GIF / ICO / JPG / RLE / WMF) スタイル(拡大縮小(自動フィット、縦横比保持)) データ埋め込みまたはファイル参照
日付機能	書式設定(西暦、和暦、年桁数、ゼロサプレス、区切り記号設定などの Windows®標準フォーマット) 自動日付計算(固定日数計算、差し込みデータによる計算)
差込印刷機能	フィールド名設定、フィールド数最大 255、1 フィールドに対して複数アイテムリンク可、バーコードデータチェック 外部データの取り込み(形式: Access97~2000 / Excel95~2000 / CSV(カンマ・タブ)) 外部データの書き出し(CSV)
ナンバリング発行	桁数指定、ゼロサプレス指定、増減ステップ指定、同一発行枚数指定
禁止機能	ラベルデザイン変更の禁止、データ変更の禁止

必要なシステム構成

- Windows7/ Windows 8/ Windows8.1/ Windows10 (日本語版限定)
- Celeron N4000 相当以上
- マウス
- CD-ROM ドライブ

■対応プリンター

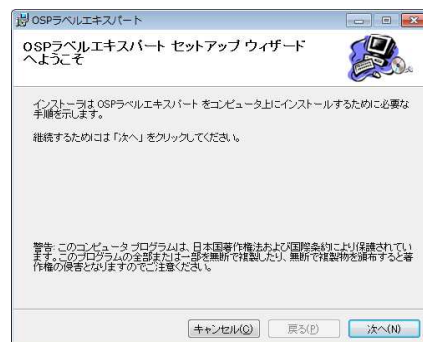
大阪シーリング印刷(株)が販売する以下のプリンターに対応しています。

TP-105・TP-128・TP-4S・TP-4X・B-458・B-858

B-EX4・B-EX6・BA-420T・B-SX8・CB-418-T3・B-SX8T・TM-C7500

インストール

OSP ラベルエキスパートの CD-ROM をドライブにセットし、[自動再生]ダイアログで[Setup. exe]をクリックするとインストーラーが起動されて右の画面が表示されます。画面に従って[次へ]をクリックしてインストールしてください。

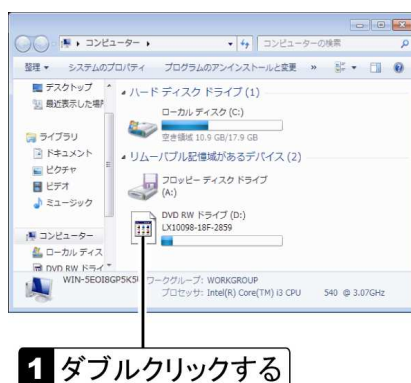


■ インストールするフォルダを変更するには
[インストールフォルダの選択]ダイアログで[参照]をクリックして、インストールするフォルダを指定してください。



■ インストーラーが起動しない場合は

インストーラーが自動的に起動しない場合は、CDドライブをダブルクリックして下さい。インストーラーが起動します。



- D:¥SETUP.EXE の E は CD-ROM のドライブ名です。お使いの CD-ROM のドライブ名を指定してください。

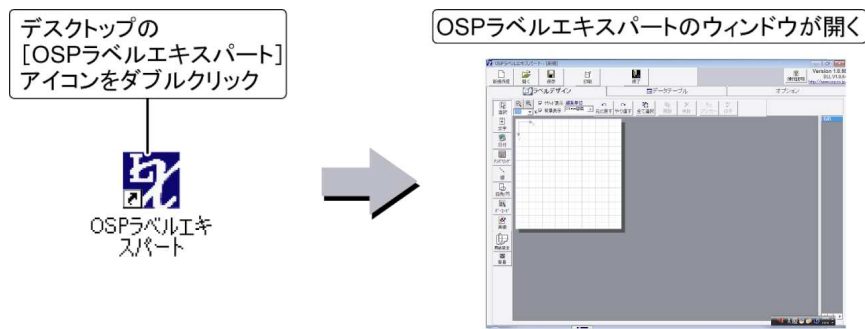
■ OSP ラベルエキスパートの削除

パソコンから OSP ラベルエキスパートを削除するには、[スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール]をクリックし、アンインストールで削除してください。

- Windows® 7 の場合は、[スタート]-[コントロールパネル]をクリックし、[プログラムのアンインストール]で削除してください。
- Windows® 8 の場合は、チャームの[設定]-[コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール]で削除するプログラムを選択し、[アンインストール]をクリックして下さい。
- Windows® 10 の場合は、[スタートメニュー]-[設定]をクリックし、[アプリ]-[アプリと機能]から削除するプログラムを選択し、[アンインストール]をクリックして下さい。

起動と終了

OSP ラベルエキスパートを起動する

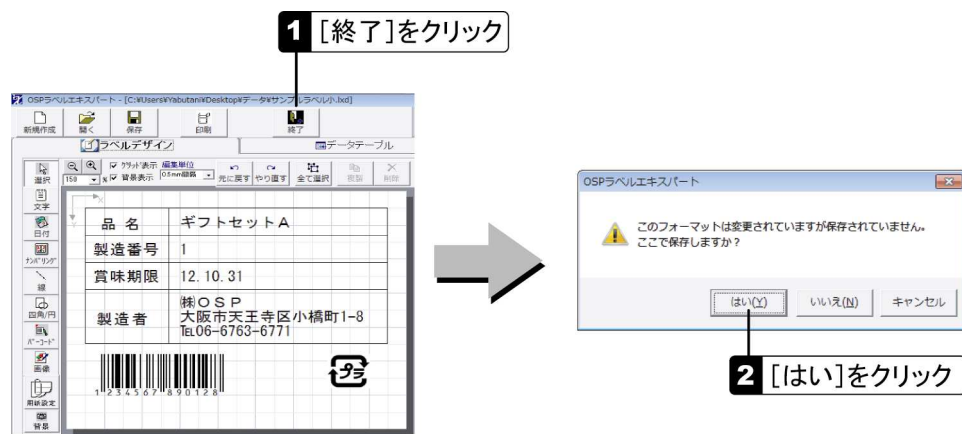


■ 起動と同時にラベルを開く



ラベルファイルのアイコンをダブルクリックするだけで、OSP ラベルエキスパートを起動してラベルを開くこともできます。

OSP ラベルエキスパートを終了する



- ラベルが変更されていない場合、保存を確認するダイアログは表示されません。

■ 終了時にパソコンの電源を自動的に切る

[環境設定]の[自動シャットダウン](p.40)を設定すると、OSP ラベルエキスパート終了後に、パソコンの電源を自動的に切ることができます。

ラベルファイルの操作

ラベルを新規に作成する

OSP ラベルエキスパートを起動すると、新規のラベルが自動的に表示されます。他のラベルが表示された状態で新規のラベルを作成する場合は、[新規作成]をクリックします。

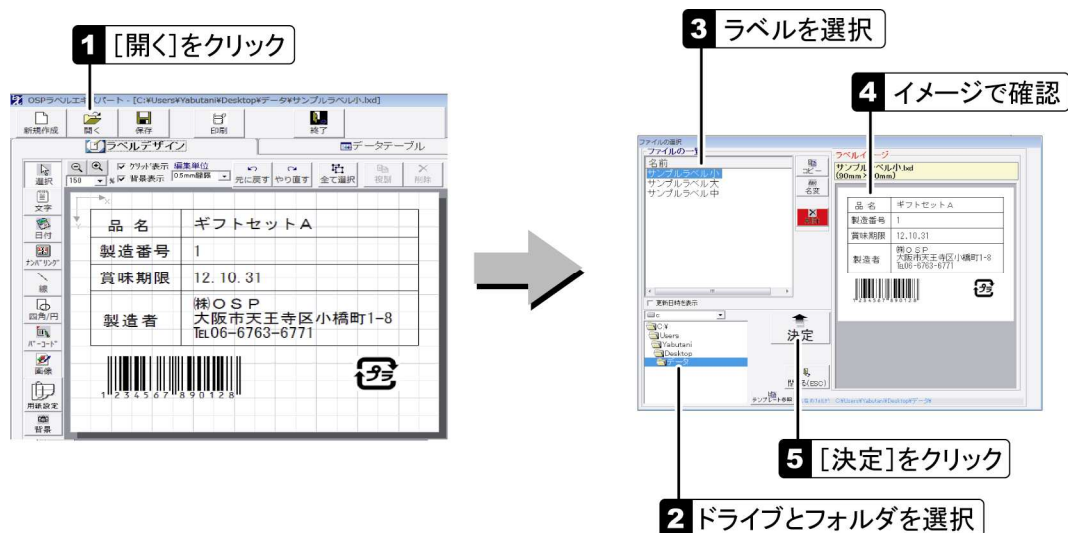
- 編集したラベルを保存せずに[新規作成]をクリックすると、保存を確認するダイアログが表示されます。「ラベルを保存する」(p.7)と同じ要領で操作してください。
- 新規作成時に、ラベルサイズを設定するダイアログを自動的に表示することができます(p.40)。



ラベルを開く

ラベルをイメージで確認して開くことができます。

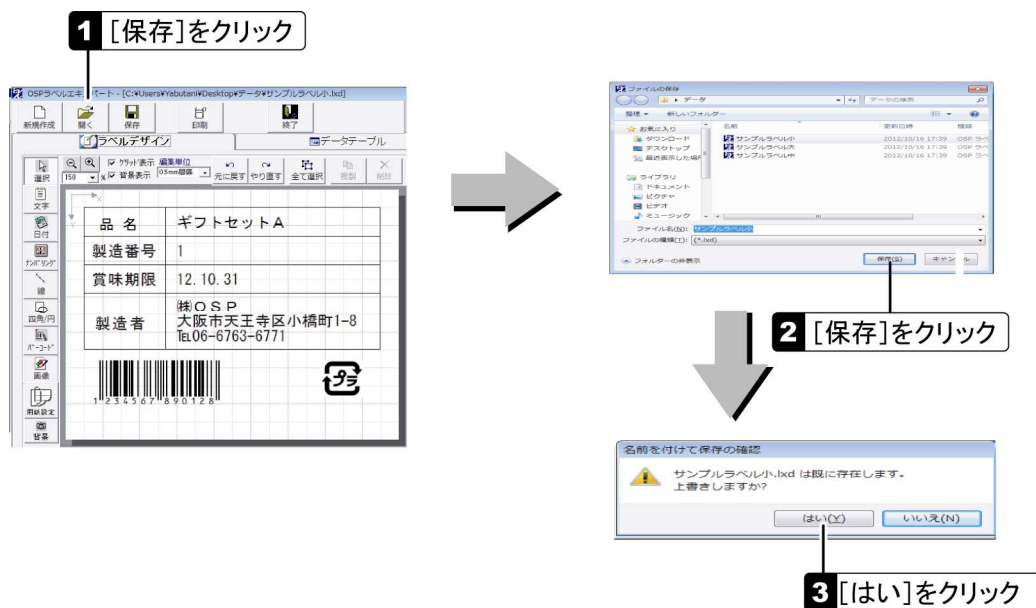
- 編集したラベルを保存せずに[開く]をクリックすると、保存を確認するダイアログが表示されます。「ラベルを保存する」(p.7)と同じ要領で操作してください。
- [ファイルの選択]ダイアログで表示される既定のフォルダは変更できます(p.40)。
- [ファイルの一覧]の文字サイズは変更できます(p.41)。



ラベルを保存する

ラベルファイルを上書き保存します。

別名で保存する場合は、[ファイルの保存]ダイアログでフォルダとファイル名を指定してください。

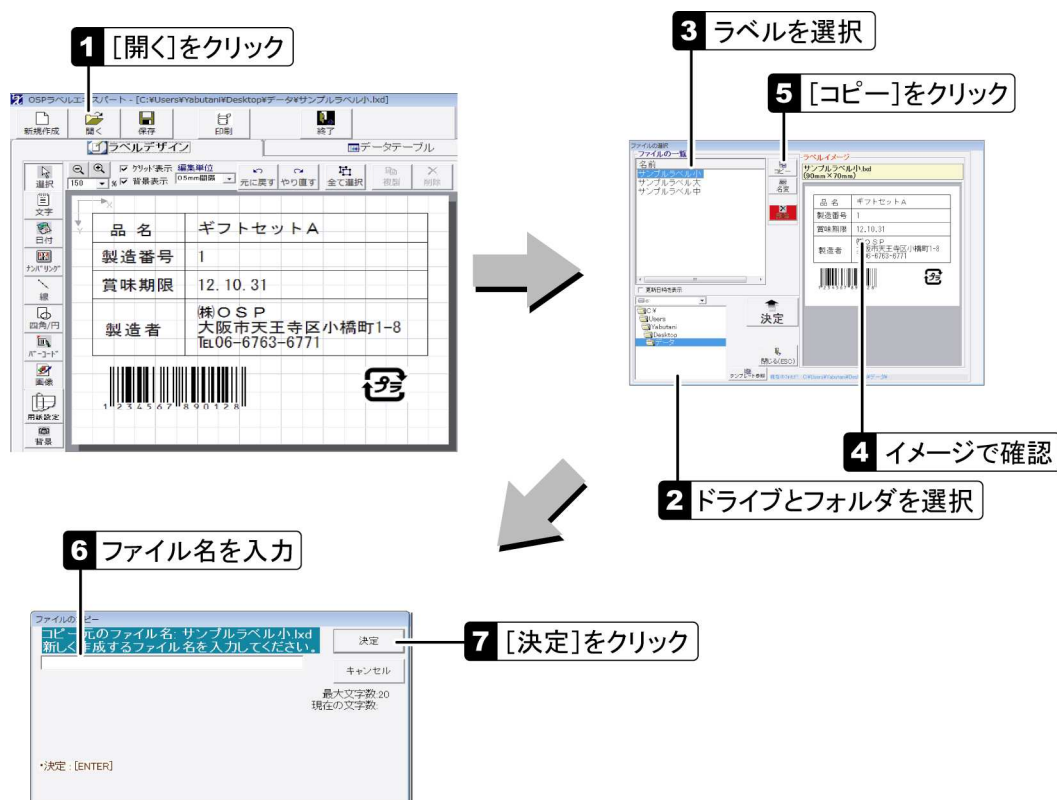


ラベルをコピーする

ラベルをコピーすると、データテーブルのデータ(p.29)もコピーされます。

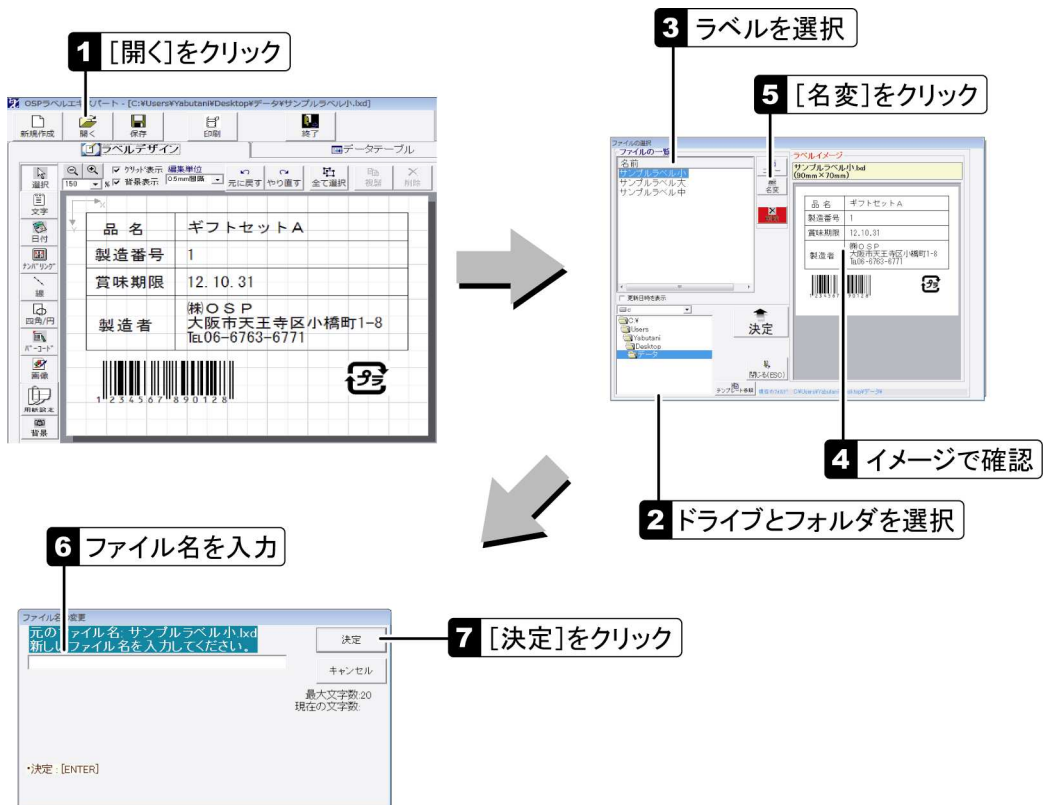
コピー先のファイル名は 20 文字以内で指定してください。拡張子 lxd は入力不要です。

- コピーしたラベルは[ファイルの一覧]に追加されます。「ラベルを開く」(p.6)の要領で開いてください。
- [ファイルの一覧]の文字サイズは変更できます(p.41)。



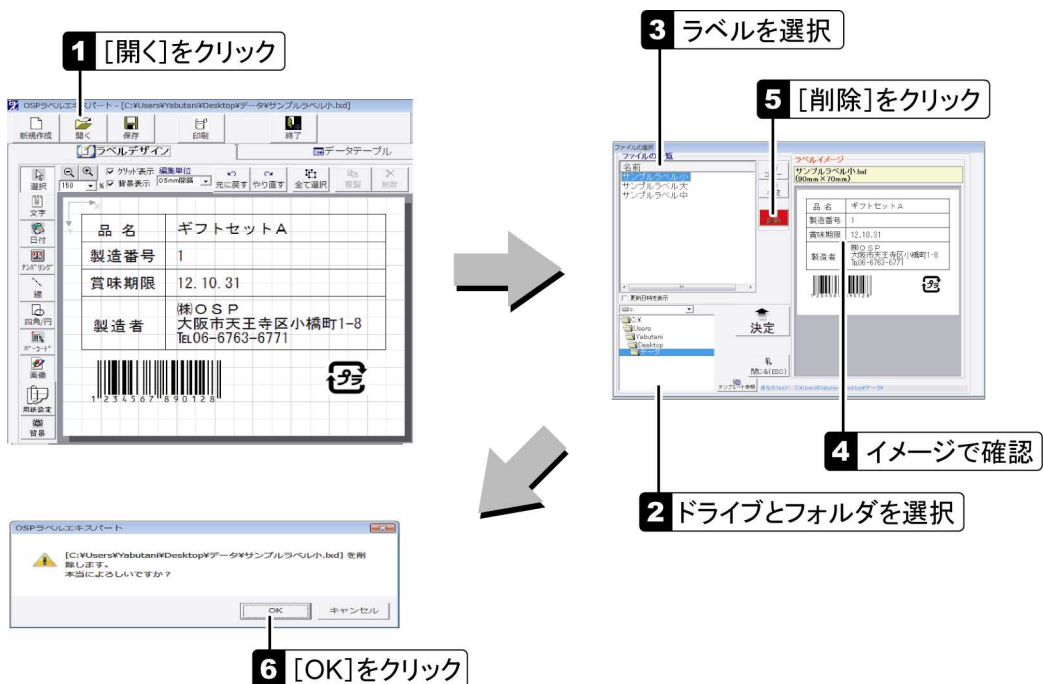
ラベルのファイル名を変更する

ラベルのファイル名を変更します。
ファイル名は 20 文字以内で指定してください。拡張子 lxd は入力不要です。



ラベルを削除する

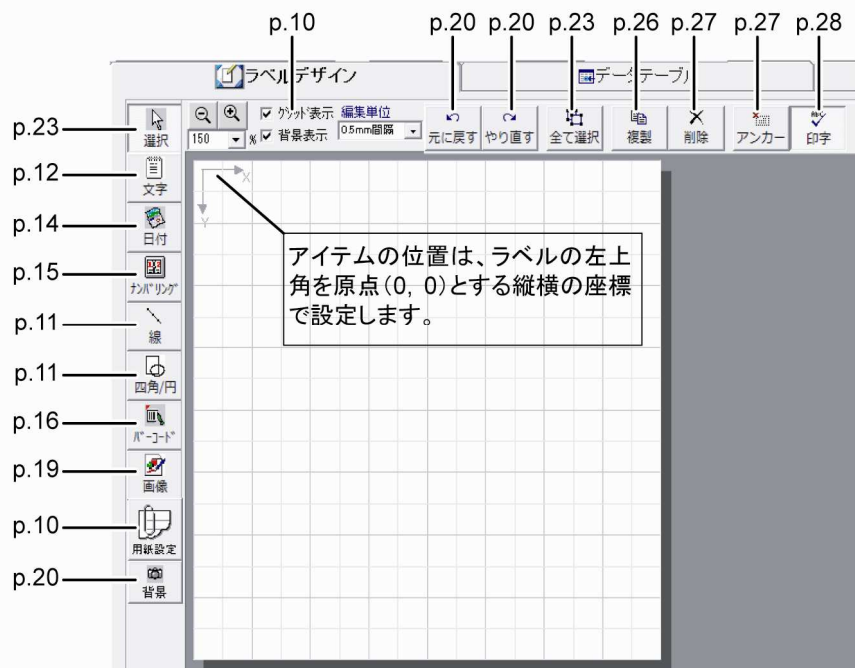
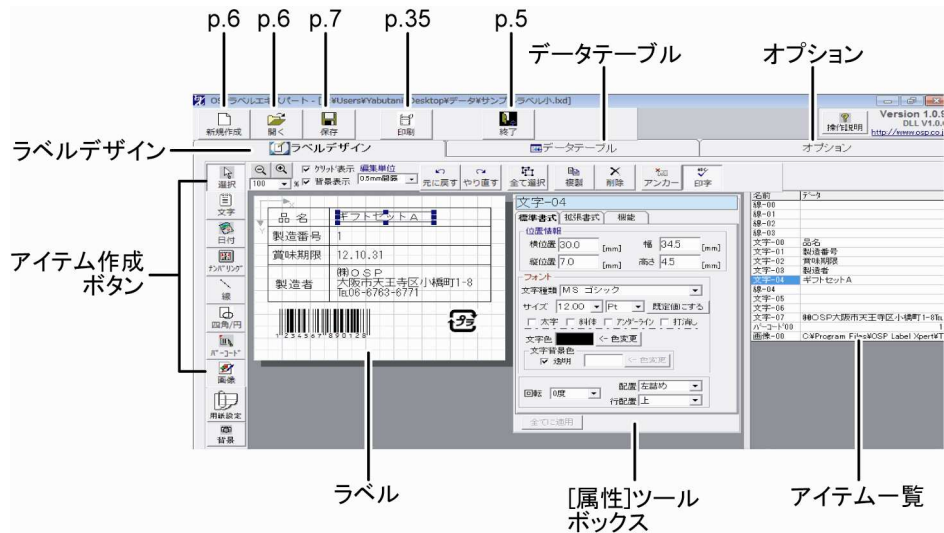
ラベルファイルを削除します。



ラベルのデザイン

ラベルデザイン画面

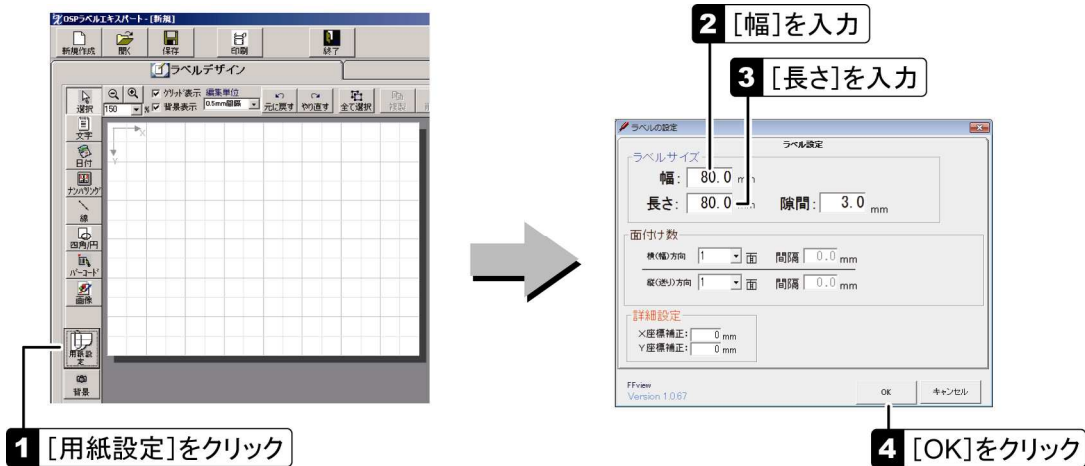
ラベルはラベルデザイン画面で作成します。線や四角、文字、バーコードなど、ラベルに配置する要素を「アイテム」といい、それぞれのアイテム作成ボタンをクリックして作成していきます。アイテムを作成・選択すると、その属性を設定するための[属性]ツールボックスが表示されます。



ラベルのサイズを設定する

ラベルの基本設定を行います。

- [新規作成]で開くラベルサイズの既定値を設定することができます。ラベルサイズを設定した後、[オプション]タブの[現在のラベル設定を既定値にする]をクリックしてください。
- 新規作成時に、ラベルサイズを設定するダイアログを自動的に表示することができます(p.40)。

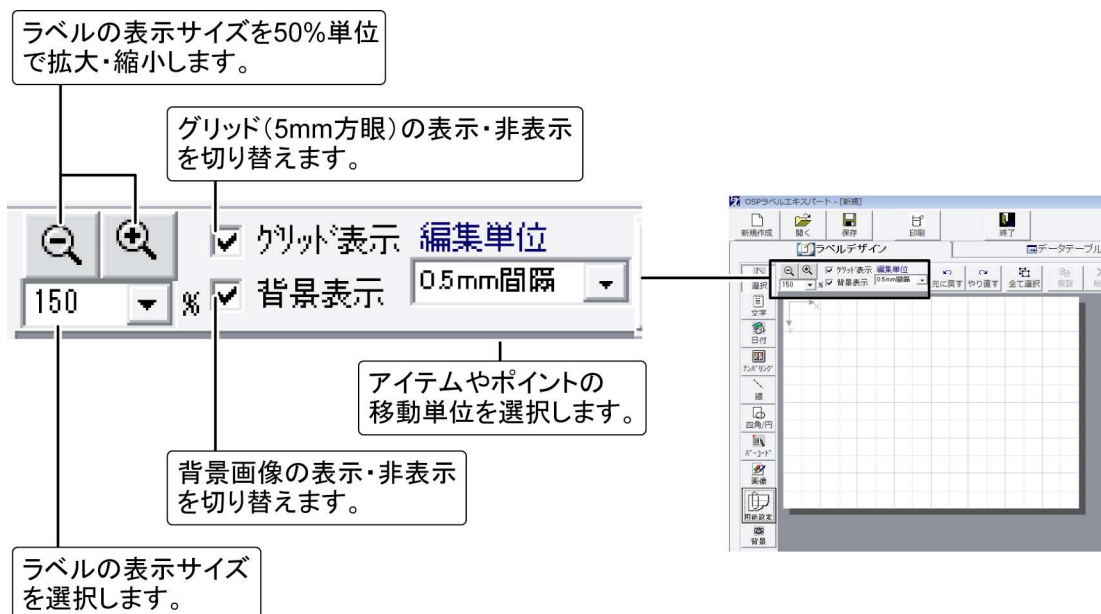


■ [ラベルの設定]ダイアログ

ラベルサイズ	ラベルの[幅]と[長さ]を設定します。[隙間]にはラベル間の隙間を設定します。
面付け数	横方向に複数列並んだラベルに印刷する場合は、その列数を[面]に、列間の隙間を[間隔]に設定します(p.36)。縦方向の面付け設定も可能(シート印字等)
X座標補正 Y座標補正	実際のラベルへの全体の印字位置を調整します。設定範囲はともに-50~+50mmです。

表示サイズを変更する

デザイン作業を行いやすいように、ラベルの表示サイズを変更したり、アイテムやポイントの移動単位を設定できます。

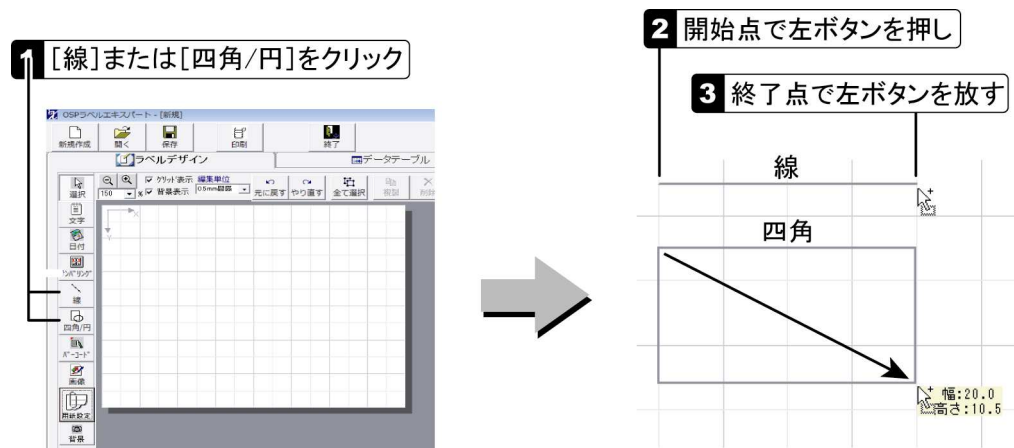


線・四角・円を作成する

線・四角・円を作成する

線または四角を作成するには、開始点でマウスの左ボタンを押し、そのまま終了点までドラッグします。斜線を引くには、[Shift]キーを押した状態で終了点を指定します。円は、四角を作成した後、[属性]ツールボックスの[種類]プルダウンで[円]に変更してください。

- 位置とサイズは、数値指定(次項)またはドラッグ(p.24)で設定できます。



線・四角・円の属性を設定する

線の太さやサイズなどを設定します。線・四角・円を選択(p.23)し、[属性]ツールボックスで設定してください。



X1(X座標)	開始点(線の左端、四角・円の左上角)の座標を設定します。
Y1(Y座標)	
X2(X座標)	終了点(線の右端、四角・円の右下角)の座標を設定します。
Y2(Y座標)	
境界色	線に色を付けます。[色変更]をクリックして設定してください。
境界線パターン	線のパターンを設定します。
線幅	線の太さを設定します。
角丸め	四角の角丸の半径を設定します。
透明	四角・円内を透明にします。
背景色	四角・円内に色を塗ります。[色変更]をクリックして設定してください。
背景パターン	四角・円内にパターンを設定します。
パターン色	背景パターンの色を設定します。[色変更]をクリックして設定してください。
種類	四角を円に変更します。または円を四角に戻します。

■属性を一括設定する

[境界線]と[背景]に関する設定は、複数の線・四角・円に一括で設定することができます。複数の線・四角・円を選択(p.23)した状態で設定を行い、[全てに適用]をクリックしてください。

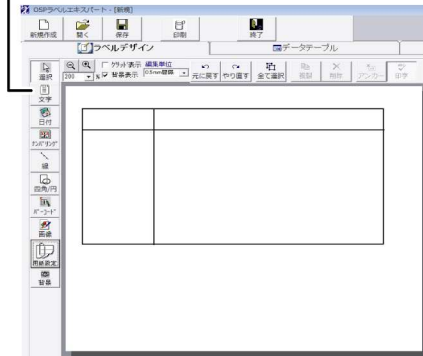
文字を作成する

文字を作成する

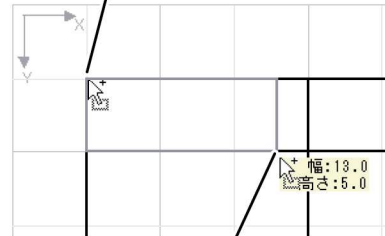
文字を作成するには、ドラッグして文字エリアを作成します。文字を作成すると、「TEXT-01」などの仮の文字データが表示されます。文字データの設定方法は p.13を参照してください。

- 文字エリアの位置とサイズは、数値指定(次項)またはドラッグ(p.24)で設定できます。

1 [文字]をクリック



2 左上角で左ボタンを押し



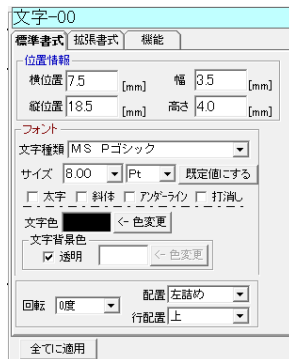
3 右下角で左ボタンを放す

文字の属性を設定する

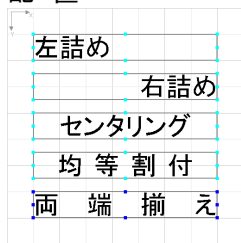
文字のフォントやサイズを設定します。文字を選択(p.23)し、[属性]ツールボックスの[標準書式]と[拡張書式]タブで設定してください。

- [機能]タブについては p.30を参照してください。

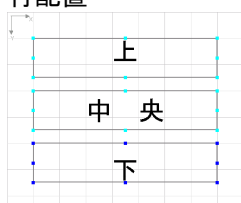
■ 標準書式



配置

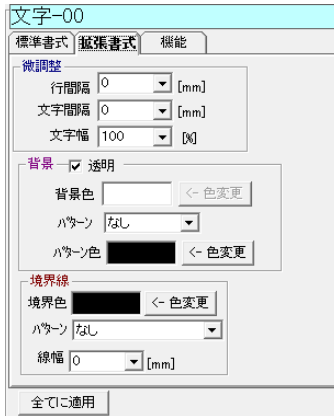


行配置



横位置・縦位置	文字エリアの左上角の座標を設定します。
幅・高さ	文字エリアのサイズを設定します。
文字種類	フォントを設定します。
サイズ	文字のサイズを設定します。mm またはポイント(Pt)で設定できます。
既定値にする	現在設定されている[文字種類][サイズ][太文字][斜体][アンダーライン][打消し]を既定値に設定し、以降に作成する文字に適用します。
太字・斜体・アンダーライン・打消し	文字の修飾を設定します。 太字 ・ <i>斜体</i> ・ <u>アンダーライン</u> ・ 打消し
文字色	文字の色を設定します。[色変更]をクリックして設定してください。
文字背景色	文字の背景色を設定します。[透明]のチェックマークを外し、[色変更]をクリックして設定してください。
回転	文字エリア内で文字列を回転させます。
配置	文字エリア内での横方向の配置を設定します。
行配置	文字エリア内での縦方向の配置を設定します。

■ 拡張書式



行間隔	行と行の間隔を設定します。
文字間隔	文字と文字の間隔を設定します。
文字幅	文字を幅方向に拡大・縮小します。
透 明	文字エリアの背景を透明にします。
背景色	文字エリア内に色を塗ります。[透明]のチェックマークを外し、[色変更]をクリックして設定してください。
背景パターン	文字エリア内にパターンを設定します。
パターン色	文字エリア内のパターンの色を設定します。[色変更]をクリックして設定してください。
境界色	文字エリアの外枠に色を付けます。[色変更]をクリックして設定してください。
境界色パターン	外枠にパターンを設定します。
線 幅	外枠の線の太さを設定します。

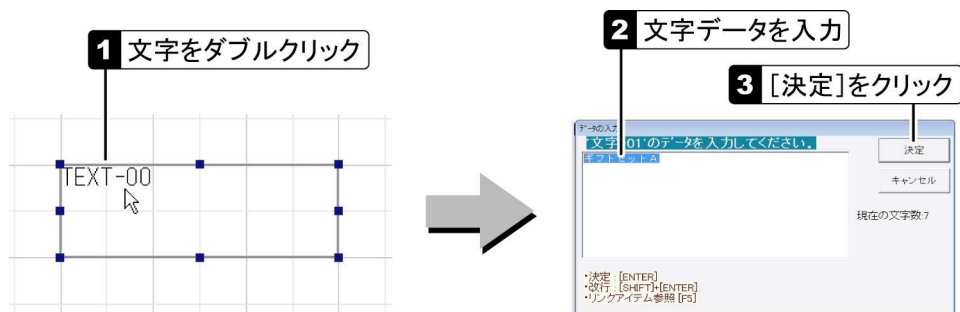
■ 属性を一括設定する

[標準書式] ([位置情報]を除く)と[拡張書式]での設定は、複数の文字に一括で設定することができます。複数の文字を選択 (p.23)した状態で設定を行い、[全てに適用]をクリックしてください。

文字データを入力する

文字アイテムに文字データを入力します。これと同じ要領で、日付の数値、ナンバリングの初期値、バーコードのデータを設定できます。文字データを複数行入力するには、[Shift]+[Enter]キーを押して改行します。

- [データの入力]ダイアログは、文字アイテムをクリックし、サブメニューから[文字入力]を選択して表示することもできます。



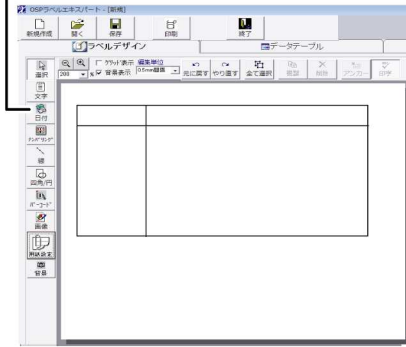
日付を作成する

日付を作成する

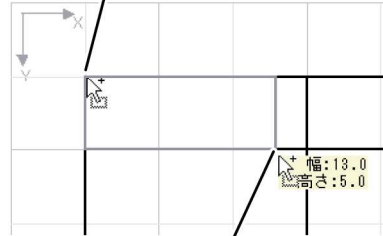
製造年月日や消費期限などの日付を作成します。

- 日付エリアの位置とサイズは、数値指定(p.12)またはドラッグ(p.24)で設定できます。

1 [日付]をクリック



2 左上角で左ボタンを押し

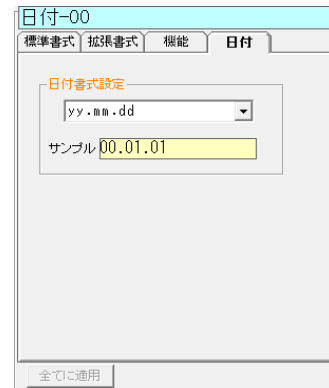


3 右下角で左ボタンを放す

日付の属性を設定する

日付の書式を設定します。日付を選択(p.23)し、[属性]ツールボックスの[日付]タブにある[日付書式設定]プルダウンから選択してください。

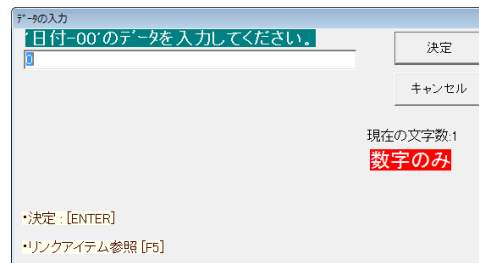
- その他、文字と同様の書式を設定できます(p.12、13)。
- [機能]タブについては p.30を参照してください。



日付の数値を設定する

基準日付からの日数を設定します。日数の計算方法は、[環境設定]の[日付計算タイプ](p.40)の設定によって異なります。

操作方法は「文字データを入力する」(p.13)を参照してください。



■ 日付計算タイプ

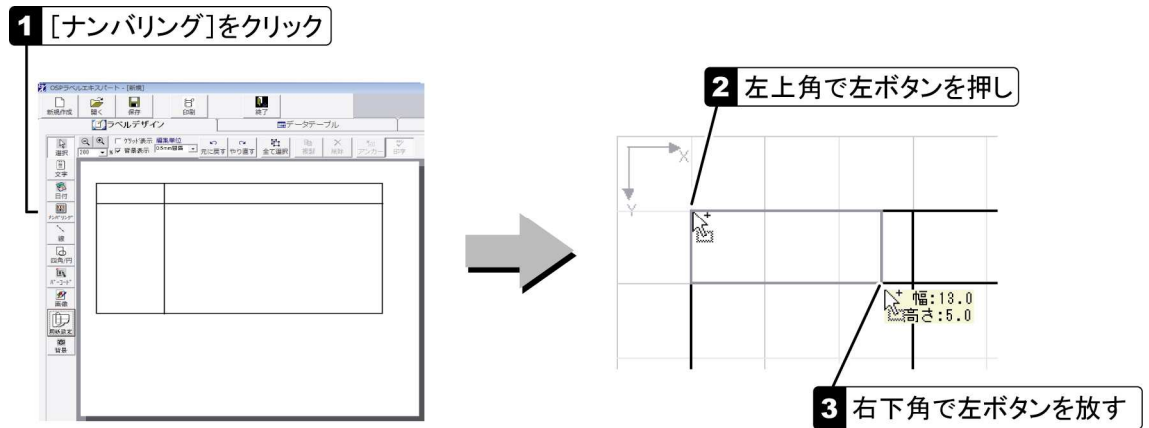
[当日を含む]	当日を「1」とする計算タイプです。 翌日の日付にするには、日付データに「2」を設定します。
[D+(x 日をプラスする)]	何日後かを指定する計算タイプです。 翌日の日付にするには、日付データに「1」を設定します。

ナンバリングを作成する

ナンバリングを作成する

製造番号やシリアルナンバーなどのナンバリングを作成します。
ナンバリングアイテムは、1つのラベルに1つしか作成できません。

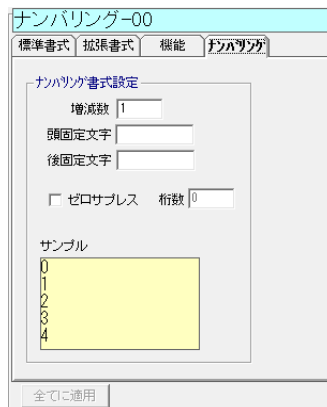
- ナンバリングエリアの位置とサイズは、数値指定(p.12)またはドラッグ(p.24)で設定できます。



ナンバリングの属性を設定する

ナンバリングの増減数や桁数を設定します。ナンバリングを選択(p.23)し、[属性]ツールボックスの[ナンバリング]タブで設定してください。

- その他、文字と同様の書式を設定できます(p.12、13)。
- [機能]タブについては p.30を参照してください。

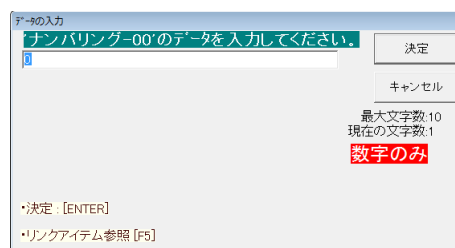


増減数	増減させる数値を設定します。減少させる場合は、マイナスの数値を設定します。
頭固定文字 後固定文字	ナンバリングの前後に付加する文字列を設定します。
ゼロサプレス	数値の先頭に0を付加してナンバリングの桁数を揃えます。チェックマークを付け、[桁数]を設定してください。

ナンバリングの初期値を設定する

ナンバリングの初期値は文字データに設定します。「文字データを入力する」(p.13)と同じ要領で設定してください。

- 初期値は、印刷時に[印刷]ダイアログ(p.35)で変更することができます。
- 次回の印刷時にナンバリングが続きの値から始まるように、初期値を自動で更新することができます(p.40)。

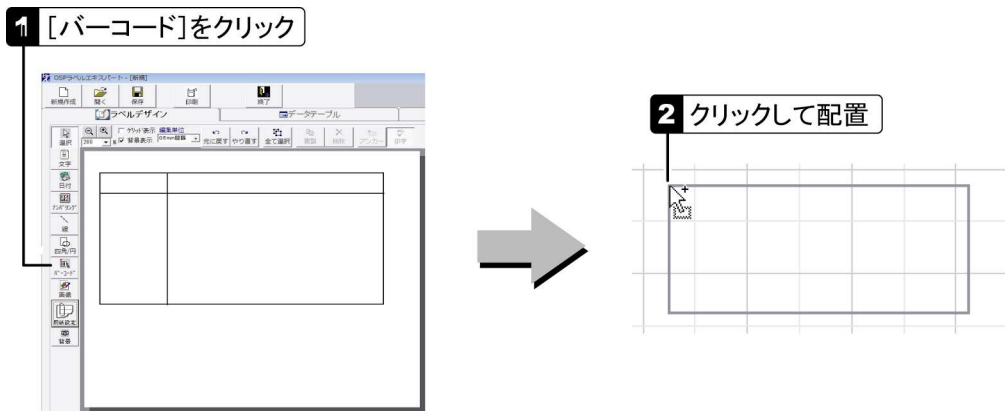


バーコードを作成する

バーコードを作成する

バーコードをラベル上に配置します。

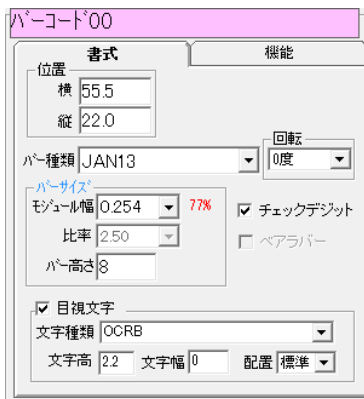
- バーコードの位置は、数値指定(次項)またはドラッグ(p.24)で設定できます。



バーコードの属性を設定する

バーコードの種類やサイズを設定します。バーコードを選択(p.23)し、[属性]ツールボックスの[書式]タブで設定してください。

- [機能]タブについては p.30を参照してください。



横・縦	バーコードの左上角の座標を設定します。
バー種類	バーコードの種類を設定します。 <ul style="list-style-type: none">● サポートしているバーコードは次ページを参照してください。● バー種類を変更すると、[データの入力]ダイアログ(p.17)でデータの再入力が必要です。
モジュール幅	細バーの太さ(mm)を設定します。 <ul style="list-style-type: none">● 実際の印字サイズはプリンターの解像度に依存します。● JANコードの場合は、倍率が右側に表示されます。
比率	CODE39の細バー:太バーの比率を設定します。
バー高さ	バーコードの高さ(mm)を設定します。
回転	バーコードを90度単位で回転させます。
チェックデジット	チェックマークを付けると、チェックデジットを自動的に付加します。
ベアラバー	ITFバーコードのベアラバーの有無を設定します。
目視文字	バーコード下の目視文字の有無を設定します。
文字種類	目視文字のフォントを設定します。
文字高・文字幅	目視文字のサイズ(mm)を設定します。
配置	目視文字の行方向の配置を設定します。
PDF417設定	PDF417の[種類][エラーレベル][カラム数][段数]を設定します。
QR Code設定	QR Codeの[エラーレベル][バージョン]を設定します。

バーコードの回転について

ラベルの印字状態によっては、90度または270度回転したバーコードの読み取りが悪くなる場合があります。[回転]は、極力0度または180度でを使用することをお勧めします。

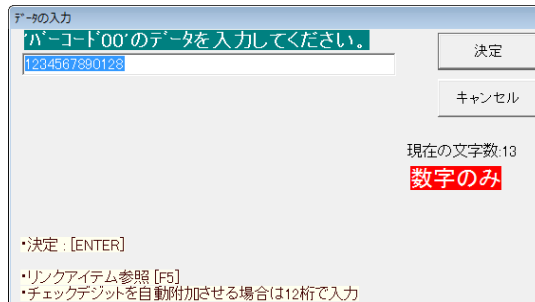
■ サポートしているバーコード

CODE39・CODE39(FULL ASCII)・CODE49・CODE93・CODE128
JAN8・JAN13・EAN128・ITF・POSTNET5・POSTNET9・POSTNET11
UPC-A・UPC-E・UPC-AddOn2・UPC-AddOn5・NW-7(CODABAR)・カスタムバーコード
PDF417・QR Code モデル 2

バーコードのデータを設定する

バーコードのデータは文字データに設定します。「文字データを入力する」(p.13)と同じ要領で設定してください。

EAN128 や 2次元コードで使用できる特殊文字コードは、[データの入力]ダイアログ下部に表示されます。{CR} や {&HD} のように、特殊文字コードを {} でくっつけて入力してください。



バーコードにナンバリングを設定する

ナンバリングを含むバーコードを作成するには、まずナンバリングを作成し、バーコードのデータからナンバリングを参照するように設定します。ナンバリングは、必要に応じて印字されないように設定することもできます (p.28)。

- ナンバリングについては p.15を参照してください。
- リンク項目参照については p.21を参照してください。

1 ナンバリングを作成し、属性と初期値を設定

2 バーコードを作成し、属性を設定

3 バーコードの[データの入力]ダイアログを表示

4 [F5]キーを押し、ナンバリングを参照するよう設定

5 バーコードのデータを設定

バーコードのために桁揃えを設定する

バーコードでの規則に合わせて、価格や品番などの桁数を揃えて参照することができます。例えば、500(円)という印字内容を、バーコードでの規則に従って 00500 という 5 桁の数値にして参照することができます。印字内容の桁数を設定するのではなく、桁設定用の仮の文字を作成し、その文字をバーコードから参照します。

- データ参照については p.21を参照してください。
- 桁設定用の文字は、印字されないように設定することもできます(p.28)。

1 桁設定用文字を作成し、[F5]キーを押して印字文字を参照するよう設定

単価 500 円 ← 印字文字 [文字-00]
600 ← 桁設定用文字 [文字-01]

2 [機能]タブで、桁数と書式を設定

3 バーコードの[データの入力]ダイアログで[F5]キーを押して、桁設定用文字を参照するよう設定

4 その他のバーコードのデータを設定

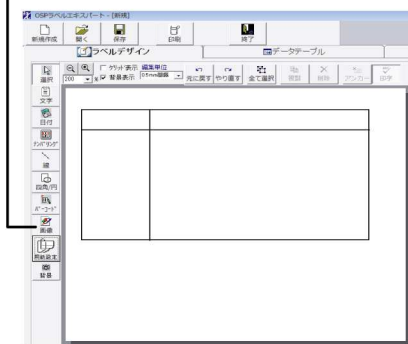
画像を配置する

画像を配置する

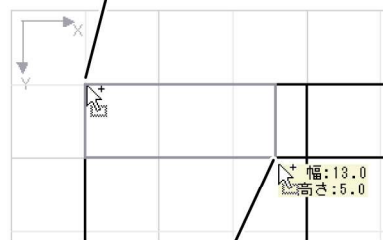
画像エリアを作成して、ロゴマークやリサイクルマークなどの画像を配置します。

- 画像エリアの位置とサイズは、数値指定(次項)またはドラッグ(p.24)で設定できます。
- 使用できる画像ファイルの形式は p.3を参照してください。

1 [画像]をクリック



2 左上角で左ボタンを押し



3 右下角で左ボタンを放す



4 画像ファイルを選択



5 [開く]をクリック

画像の属性を設定する

画像エリアのサイズや表示モードを設定します。画像を選択(p.23)し、[属性]ツールボックスで設定してください。

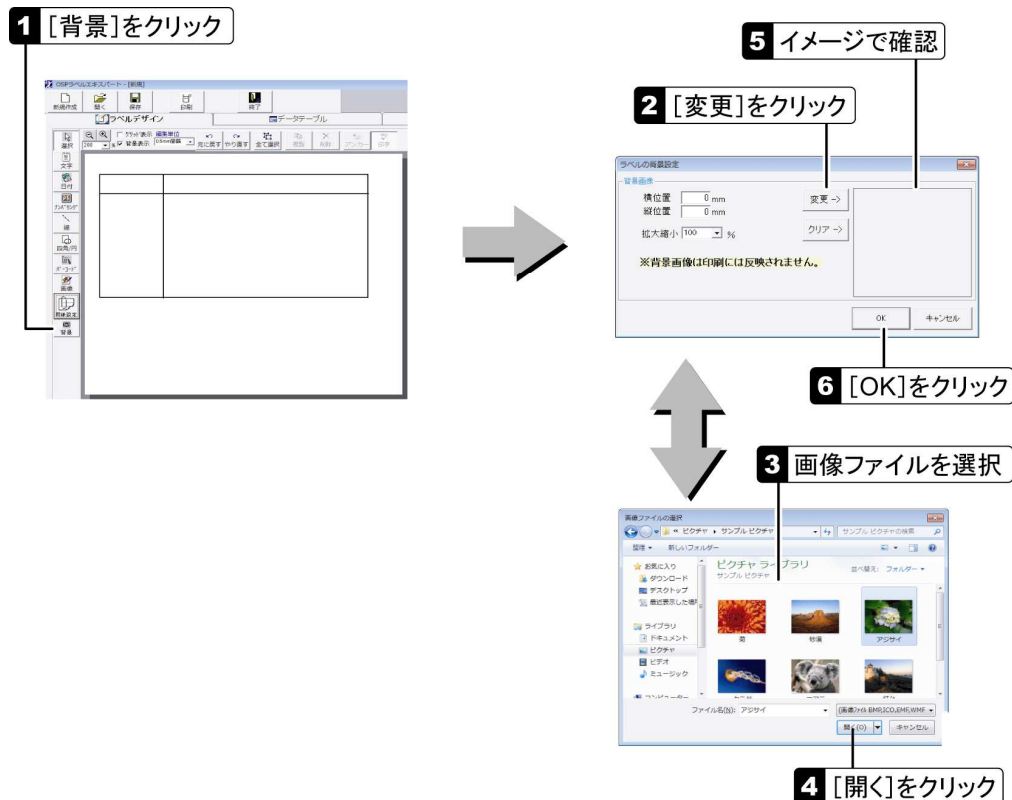


横位置・縦位置	画像エリアの左上角の座標を設定します。
幅・高さ	画像エリアのサイズを設定します。
種類	画像ファイルの扱いを設定します。 [埋め込み] 画像データをラベルファイルに埋め込みます。 [ファイル参照] 画像ファイルにリンクします。
表示モード	画像の表示モードを設定します。 [縦横比を固定] 画像の縦横比を保持したままで、画像エリアに収まるように拡大・縮小します。 [エリアに合わせる] 画像エリアに合わせて画像を縦横に拡大・縮小します。縦横比は保持されません。 [原寸表示] 画像の原寸サイズを保持したまま表示します。
回転	画像を 90 度単位で回転させます。
ファイル名	画像ファイルのパスを表示します。画像ファイルを変更するには、[変更]をクリックします。
差込み印刷	リンクさせるデータテーブルのフィールドを設定します(p.30)。

背景を設定する

ラベルに背景画像を設定します。すでにあるラベルを再現する場合や、プレプリントされたラベルに印刷する場合には、そのラベルを背景にすると、アイテムの位置合わせを行いやすくなります。背景画像の表示/非表示は切り替えることができます(p.10)。背景画像は表示のみで印刷されないため、印刷時に削除する必要はありません。背景画像をラベルから削除するには、[ラベルの背景設定]ダイアログで[クリア]をクリックします。

- 使用できるファイル形式は画像と同じです。p.3を参照してください。



■ [ラベルの背景設定]ダイアログ

横位置・縦位置	背景画像の左上角の座標を設定します。
拡大・縮小	背景画像の拡大・縮小率を設定します。
変更	背景画像のファイルを設定・変更します。
クリア	背景画像をラベルから削除します。

操作を取り消す・やり直す

編集集中に行った操作は、5回まで取り消すことができます。操作を取り消して元の状態に戻すには、[元に戻す]をクリックします。また、取り消した操作を再度実行するには、[やり直す]をクリックします。



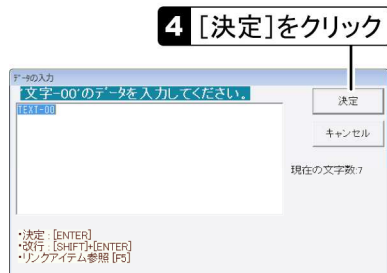
アイテムリンクで他のデータを参照する

文字アイテムとバーコードでは、他のアイテムのデータを参照することができます。この機能を「アイテムリンク」といい、データテーブルのフィールド(p.29)を参照することもできます。

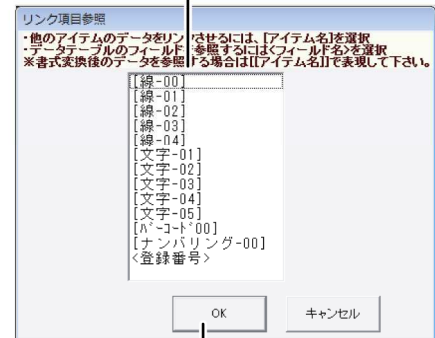
アイテムリンクは複数指定でき、固定文字列を含めた参照結果を自動で得ることができます。書式変換後のデータを参照することもできます。

[リンク項目参照]ダイアログでは、アイテムは[]で、フィールドは<>でくられて表示されます。

1 [データの入力]ダイアログを表示し、[F5]キーを押す

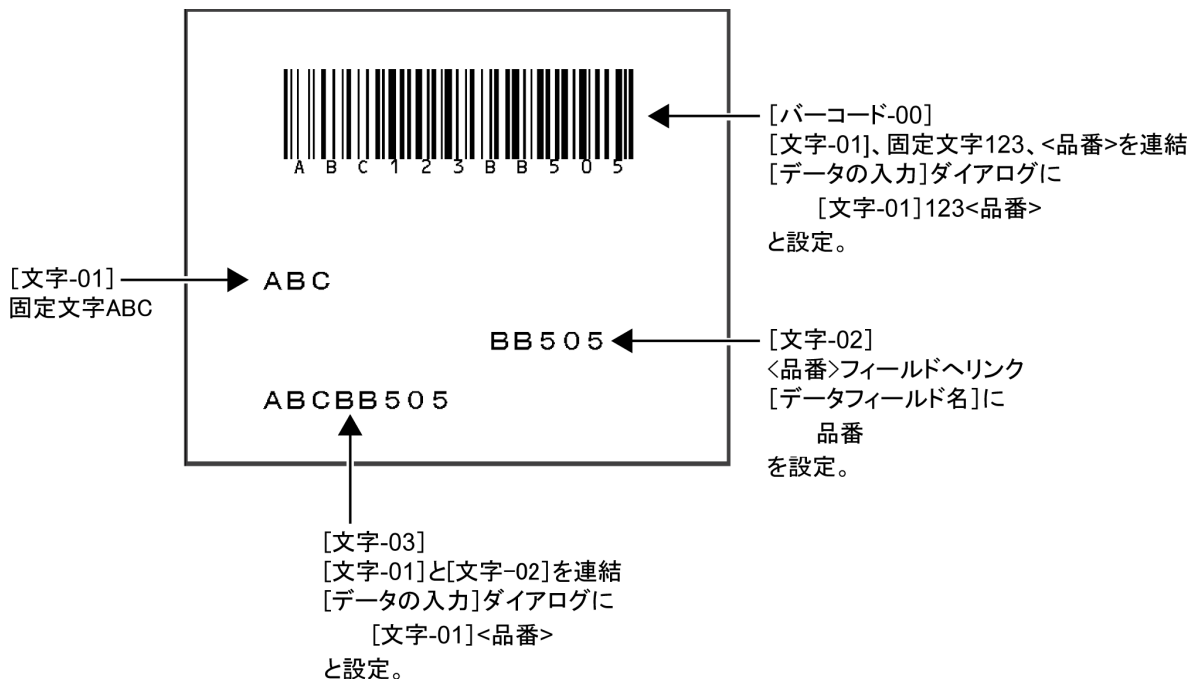


2 アイテムまたはフィールドを選択



3 [OK]をクリック

■ 設定例



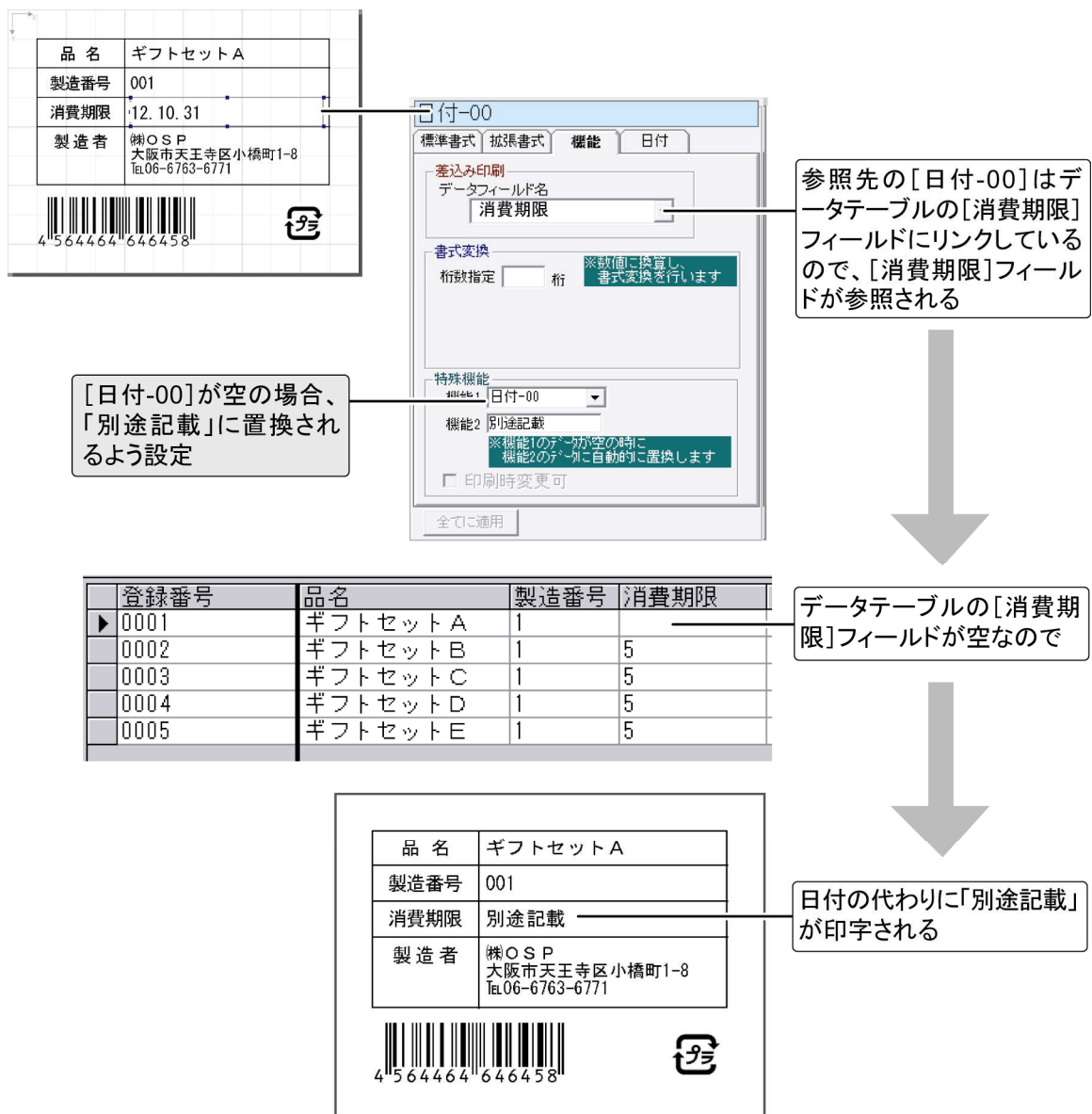
データを自動的に置換する

他のアイテムを参照し、そのデータが空の場合に、参照元を別のデータに置換することができます。例えば、消費期限の日付データが空の場合に、日付の代わりに「別途記載」という文字を印字することができます。

参照先のアイテムを[機能 1]に設定します。参照先のアイテムがデータテーブルにリンクしている場合は、リンク先のフィールド(p.30)が参照されます。参照元を置換するデータを[機能 2]に入力します。[機能 2]を空にすることによって、参照元が印字されないようにすることもできます。この機能は、文字、日付、ナンバリングアイテムで使用できます。

■ 設定例

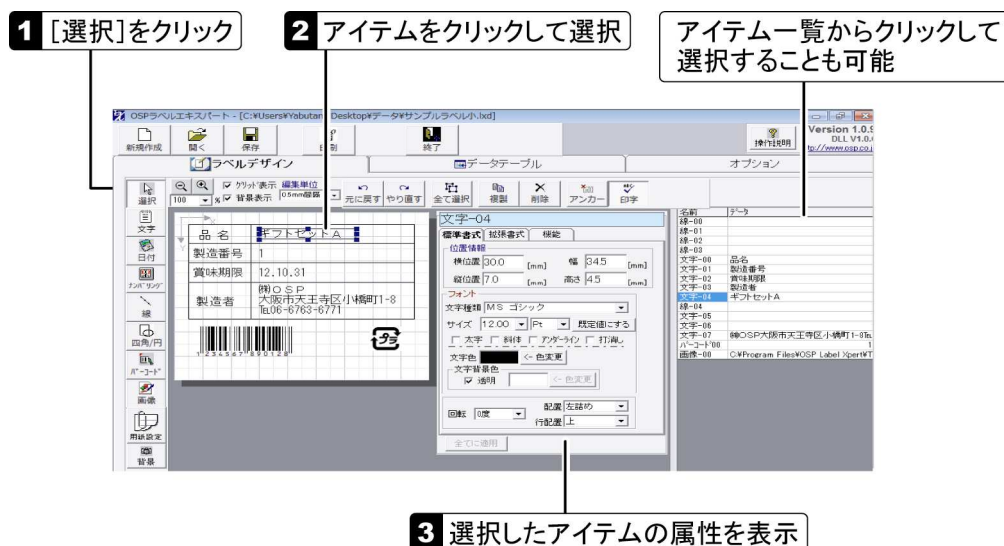
この例では、[日付-00]は、リンクしているデータテーブルの[消費期限]フィールド(p.30)を参照しています。[消費期限]フィールドに日付データが入力されている場合は、[日付-00]に日付が印字されます。[消費期限]フィールドが空の場合は、[機能 2]に設定されている「別途記載」という文字が印字されます。



アイテムの編集

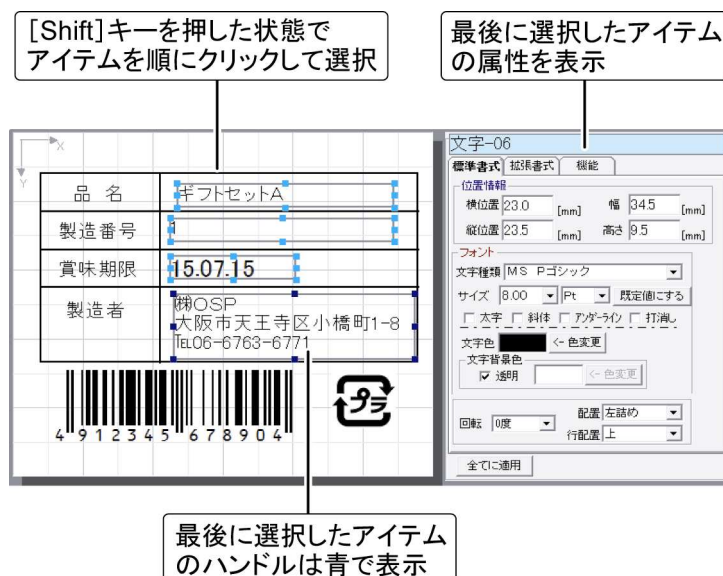
アイテムを選択する

アイテムはクリックして選択します。アイテムを選択すると、その位置やサイズなどの情報が[属性]ツールボックスに表示されます。アイテムは、右側のアイテム一覧から選択することもできます。選択を解除するには、アイテムがない部分でクリックします。



複数のアイテムを選択する

複数のアイテムを選択するには、[Shift]キーを押した状態でアイテムを順にクリックしていきます。また、マウスをドラッグして範囲を指定すると、範囲内のすべてのアイテムを選択できます。その他、[全て選択]をクリックして、すべてのアイテムを選択することもできます。複数のアイテムを選択した場合、[属性]ツールボックスには、最後に選択したアイテムの属性が表示されます。選択状態を個々に解除するには、[Shift]キーを押した状態でアイテムをクリックします。



選択を絞り込む

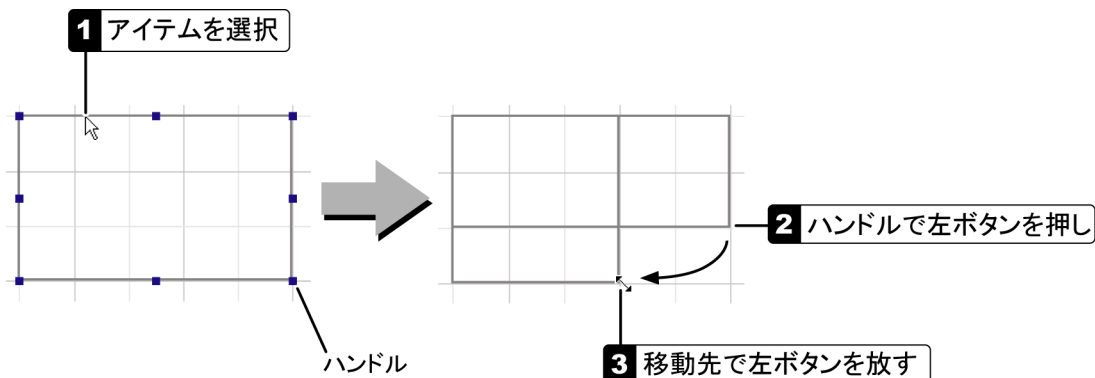
複数のアイテムを選択 (p.23) した状態から、アイテムを限定して選択を絞り込むことができます。右クリックしてサブメニューを表示し、[選択]-[選択を絞る]からアイテムを選択してください。



アイテムのサイズを変更する

アイテムを選択し、「ハンドル」という青い四角形をドラッグしてサイズを変更します。この要領で、線を斜線に変更することができます。[Shift] キーを押した状態で移動先を指定してください。複数のアイテムを選択 (p.23) して、一括でサイズを変更することもできます。

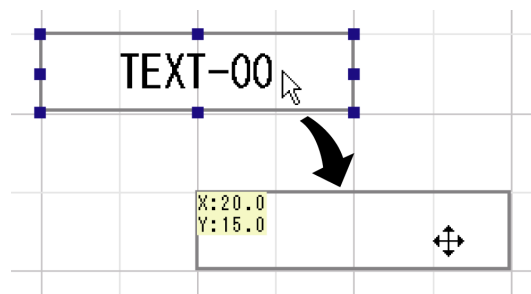
- ハンドルの移動単位は変更することができます (p.10)。



アイテムを移動する

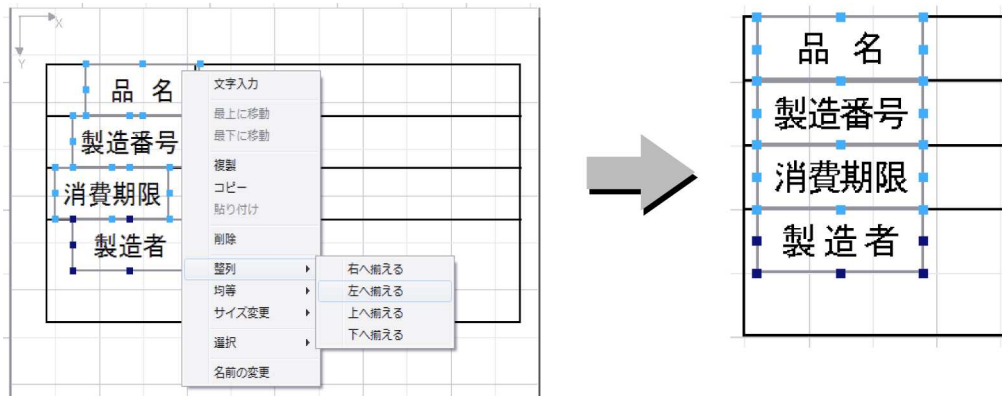
アイテムは、ドラッグで簡単に移動できるほか、カーソル移動キーで移動することもできます。複数のアイテムを選択 (p.23) して、一括で移動することもできます。

- アイテムの移動単位は変更することができます (p.10)。



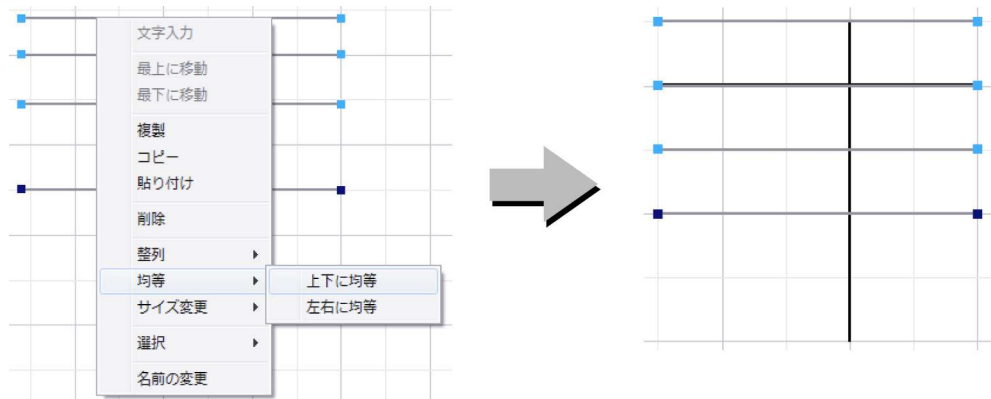
アイテムを整列させる

複数のアイテムを選択 (p.23) し、最後に選択したアイテムに合わせて整列させることができます。右クリックしてサブメニューを表示し、[整列]から揃える方向を選択してください。



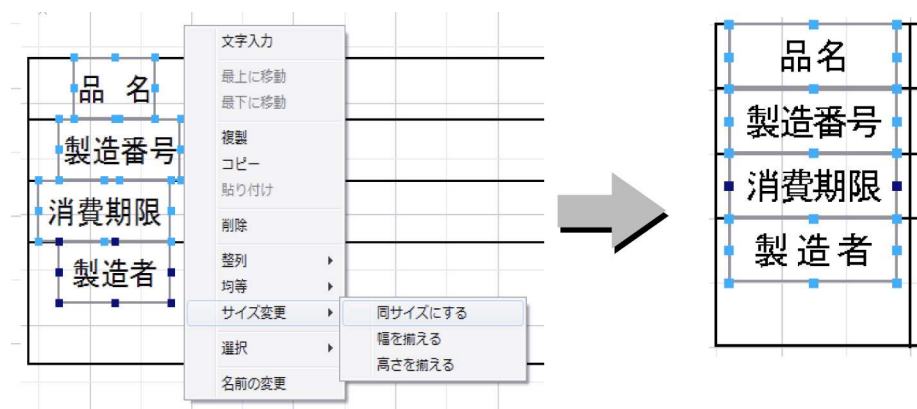
アイテムを均等に配置する

3 つ以上のアイテムを選択 (p.23) し、両端のアイテムを基準にして均等に配置することができます。右クリックしてサブメニューを表示し、[均等]から方向を選択してください。



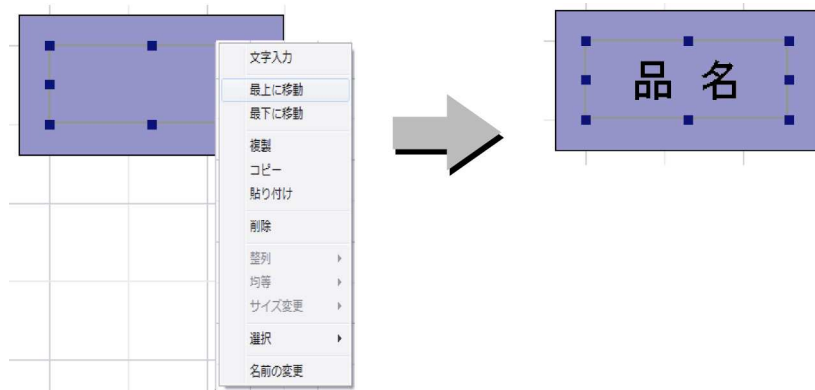
サイズを揃える

複数のアイテムを選択 (p.23) し、最後に選択したアイテムのサイズに合わせて合わせるすることができます。右クリックしてサブメニューを表示し、[サイズ変更]から揃える方向を選択してください。



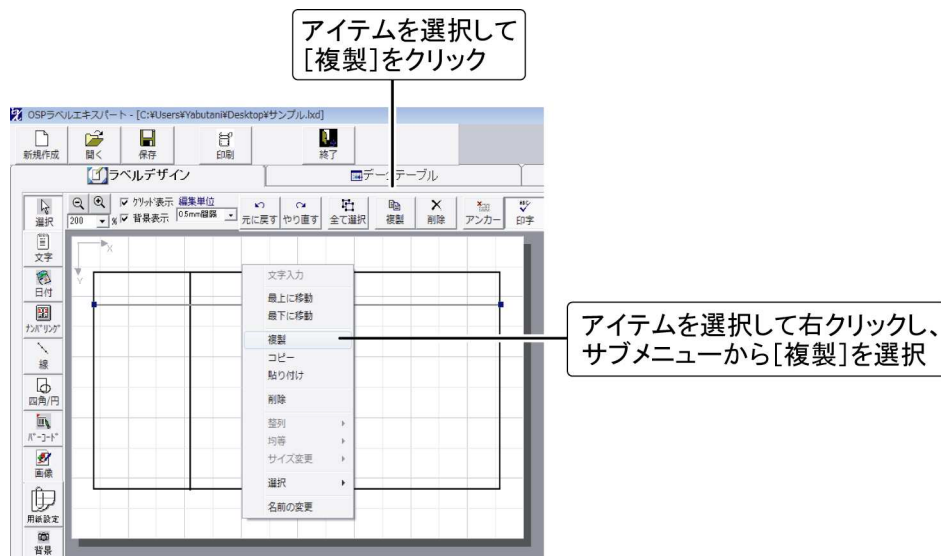
アイテムの重なりを変更する

選択したアイテムを最上面または最下面に移動して、重なり順序を変更します。アイテムを選択して右クリックし、サブメニューから[最上に移動]または[最下に移動]を選択してください。



アイテムを複製する

選択したアイテムと同じ属性を持つアイテムを複製します。アイテムを選択し、[複製]をクリックするか、右クリックしてサブメニューから[複製]を選択してください。複数のアイテムを選択(p.23)して、一括で複製することもできます。



■ アイテムを他のラベルにコピーする

サブメニューの[コピー]を選択すると、コピーしたアイテムは、OSP ラベルエキスパートを終了するまで保持されるので、他のラベルを開いてサブメニューの[貼り付け]を選択することで、アイテムを他のラベルにコピーできます。

ラベルデザインの編集を禁止する

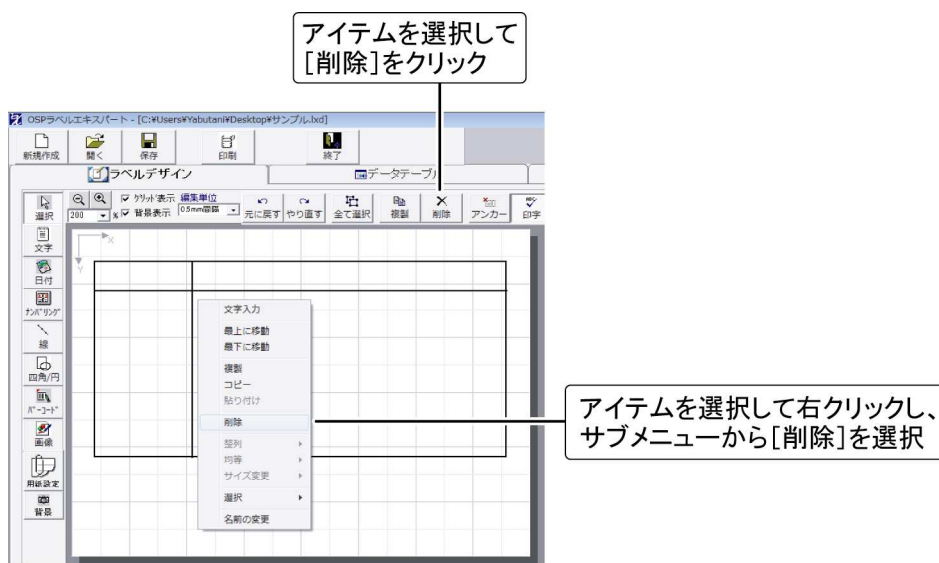
ラベルデザインは、変更できないようにロックすることができます。詳細は p.41を参照してください。

- [環境設定]ダイアログにはパスワードを設定することができます(p.41)。

アイテムを削除する

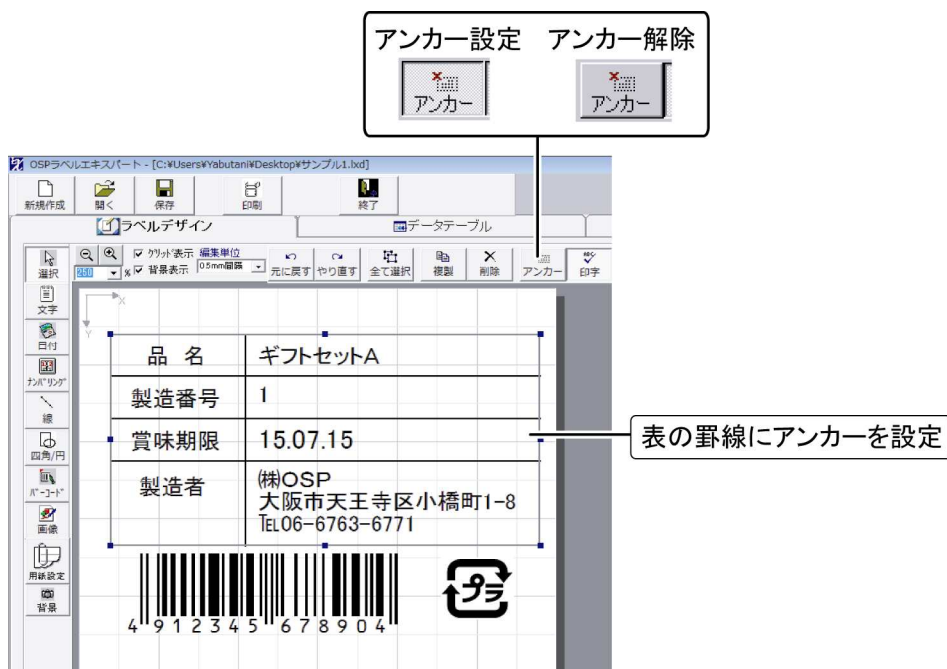
選択したアイテムを削除します。アイテムを選択し、[削除]をクリックするか、右クリックしてサブメニューから[削除]を選択してください。複数のアイテムを選択(p.23)して、一括で削除することもできます。

- [Delete]キーを押して削除することもできます。



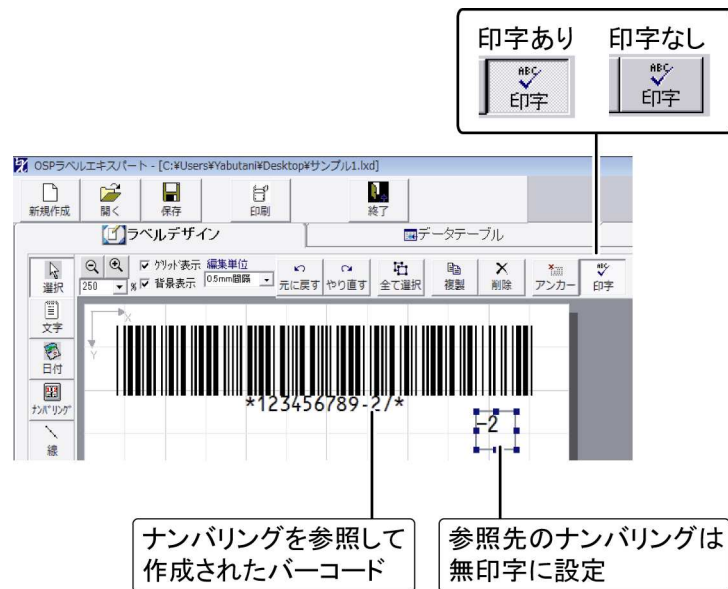
アンカーを設定する

配置が決まったアイテムは、誤って移動ないようにアンカーで固定できます。複数のアイテムを選択(p.23)して、一括で設定することもできます。アンカーを解除するには、アイテムを選択して[アンカー]をクリックします。



アイテムが印字されないようにする

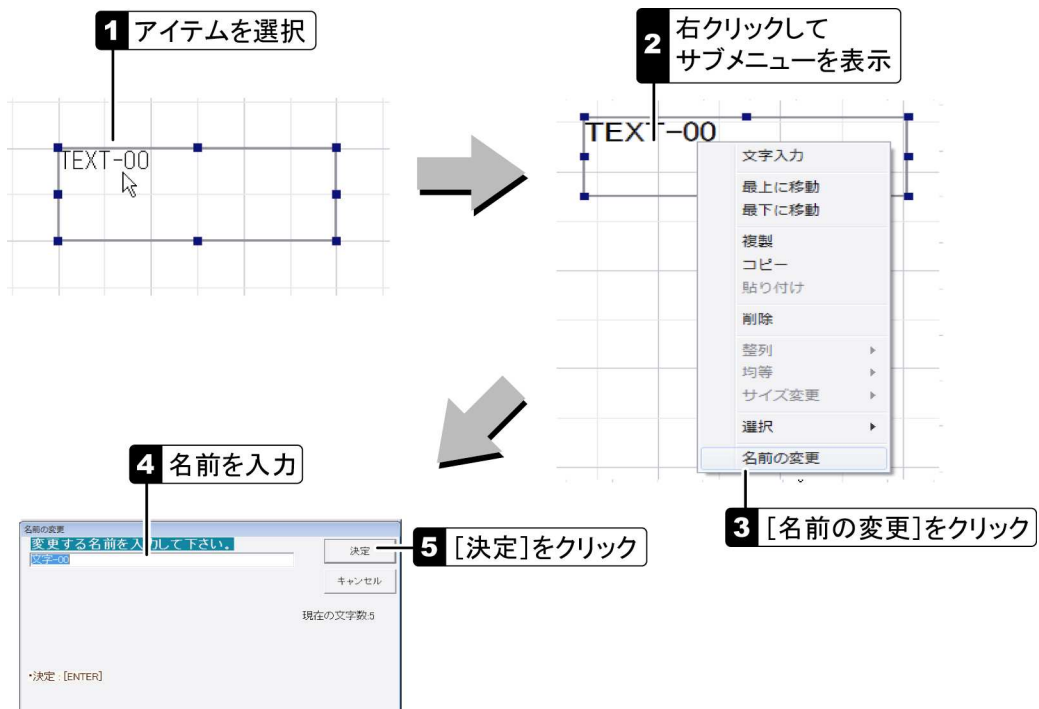
アイテムが印字されないように設定することができます。例えば、アイテムリンク機能(p.21)を使用してナンバリングを参照する場合には、参照先のナンバリングは印字されないように設定できます。アイテムを選択し、[印字]をクリックして設定してください。複数のアイテムを選択(p.23)して、一括で設定することもできます。印字されるように戻すには、アイテムを選択して[印字]をクリックします。



アイテムの名前を変更する

アイテムの作成時に自動的に付加された名前は、必要に応じて変更することができます。

- リンク先に設定されているアイテムの名前を変更すると、リンクが解除されます。



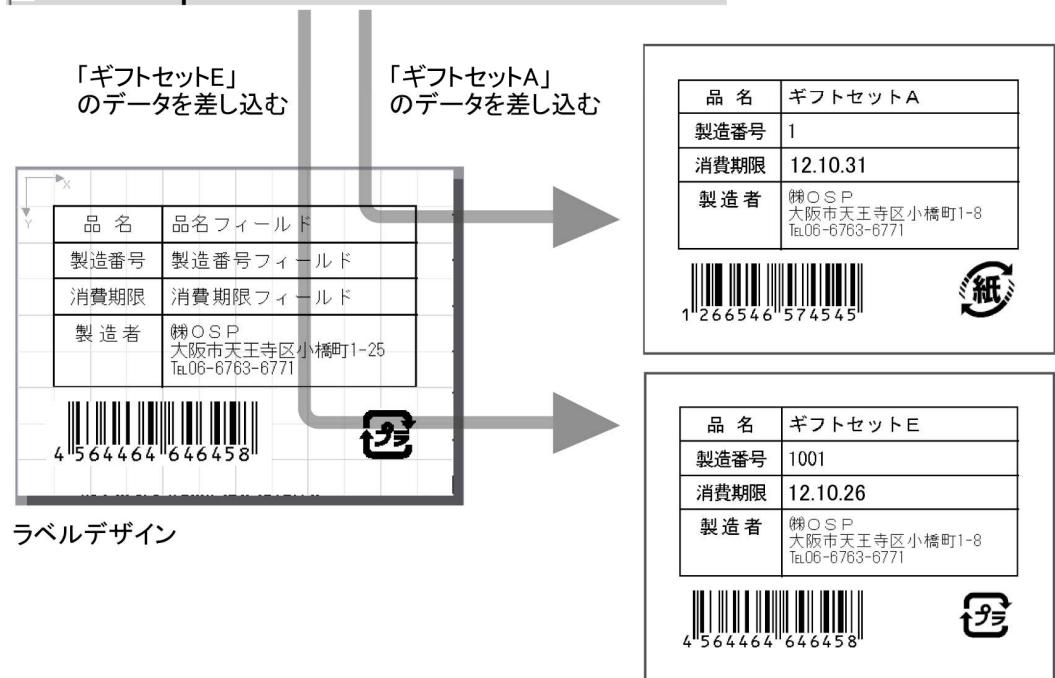
差込印刷の設定

差込印刷とは

通常、ラベルには、各商品固有の部分(商品名やバーコード)とすべてに共通の部分(表組みや製造者名)があります。OSP ラベルエキスパートでは、ラベルのデザインを1つ作成し、商品ごとに異なる部分をリンクデータとしてデータテーブルに登録することによって、複数のラベルを簡単に作成することができます。印刷時には、必要なデータを選択し、ラベルのアイテムに差し込んで印刷します。

データテーブル

登録番号	品名	製造番号	消費期限	商品バーコード
▶0001	ギフトセットA	1	10	1266546574545
0002	ギフトセットB	101	5	4546444856541
0003	ギフトセットC	301	7	2215654455450
0004	ギフトセットD	501	5	8546251145548
0005	ギフトセットE	1001	5	1125444544558



■ データテーブル

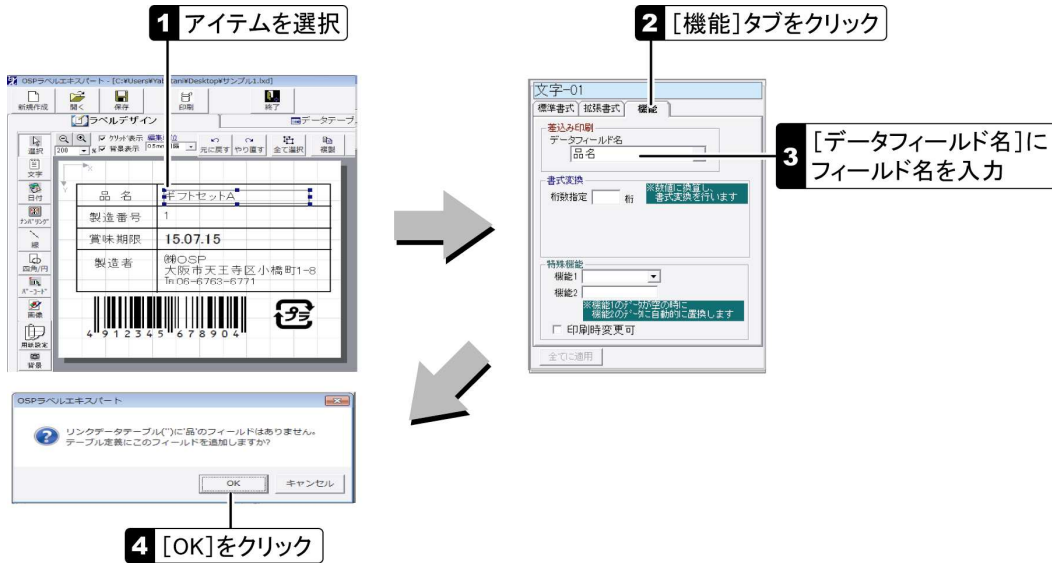
データテーブルの文字の表示サイズは変更することができます(p.41)。

	登録番号	品名	製造番号	消費期限	商品バーコード
レコードポインター	▶0001	ギフトセットA	1	10	1266546574545
レコード	0002	ギフトセットB	101	5	4546444856541
	0003	ギフトセットC	301	7	2215654455450
	0004	ギフトセットD	501	5	8546251145548
	0005	ギフトセットE	1001	5	1125444544558

レコード	1つの商品用に差し込むデータの集まりを「レコード」といいます。上図のデータテーブルには、0001~0005の5つの商品用のレコードがあります。
フィールド	差し込みを行うアイテムを「フィールド」といいます。上図のデータテーブルでは、<品名> <製造番号> <消費期限> <バーコード>のフィールドで差し込みを行います。
レコードポインター	選択状態のレコードにはレコードポインターが表示されます。
登録番号	各レコードには重複しない登録番号を付けて管理します。

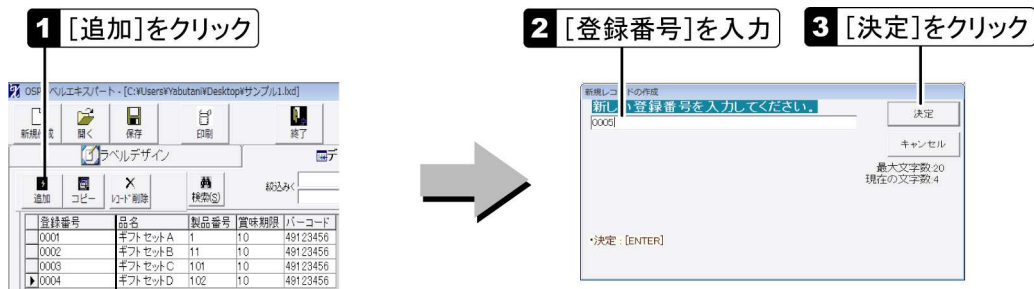
アイテムをデータテーブルにリンクさせる

アイテムを選択し、データテーブルのフィールドにリンクさせます。ラベルを新規に作成した場合は、以下のようにフィールド名を入力してフィールドも新規に作成してください。リンク先のフィールドがすでにある場合は、[データフィールド名]プルダウンから選択します。
リンクを解除するには、[データフィールド名]プルダウンから空白を選択します。



レコードを作成する

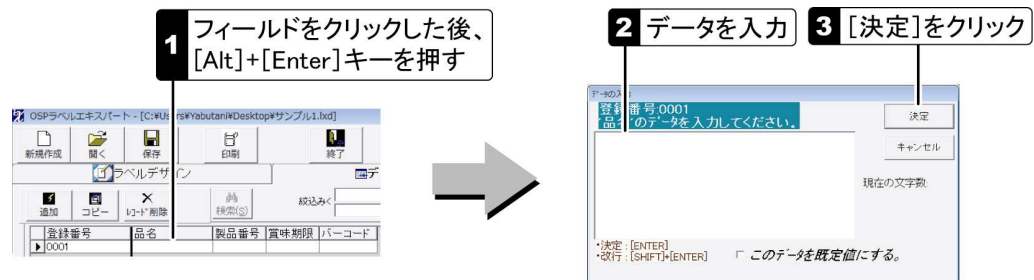
データテーブルに新規のレコードを作成します。レコードを管理するための[登録番号]は 20 文字以内で入力してください。



フィールドにデータを入力する

差込印刷用のデータを各フィールドに入力します。以下の操作を繰り返して、必要なフィールドにデータを入力してください。フィールド間はカーソル移動キーで移動できます。

- 画像の場合は、[データの入力]ダイアログの代わりに、[画像ファイルの選択]ダイアログが表示されます。画像ファイルを選択して、[開く]をクリックしてください。

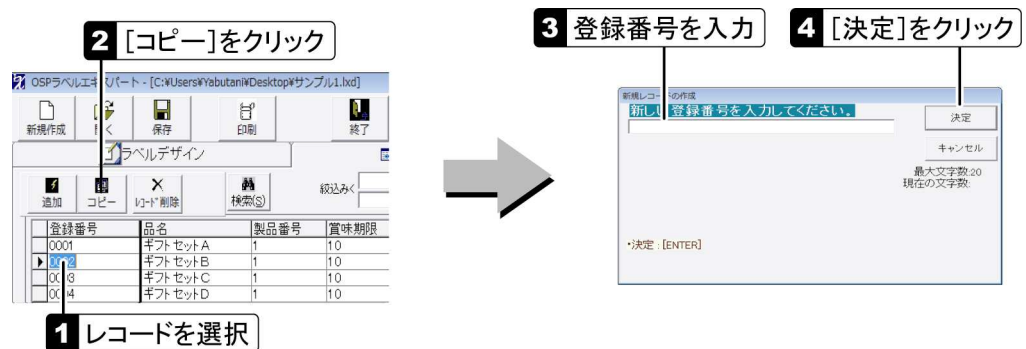


■フィールドの既定値を設定する

[このデータを既定値にする]にチェックマークを付けると、以降、新規に作成するレコードで既定値として表示されます。画像を既定値にするには、画像のパス名が入力されているフィールドを選択して、[Alt]+[Home]キーを押します。

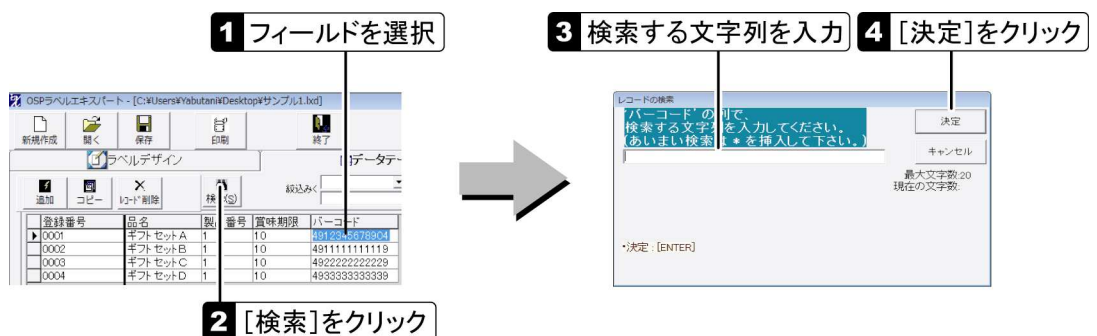
レコードをコピーする

データテーブルのレコードは、コピーすることができます。レコードを選択するには、レコード内のいずれかのフィールドをクリックしてください。



レコードを検索する

フィールドに含まれている文字列を検索キーにして、レコードを検索します。検索文字列に*（半角のアスタリスク）を含めて、あいまい検索を行うこともできます。例えば、バーコードの一部が「4656」のレコードを検索するには、文字列「*4656*」を入力します。



レコードを並べ替える

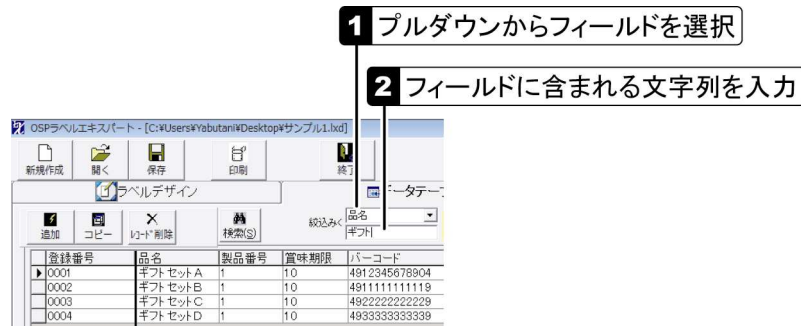
あるフィールドのデータを基準にして、レコードを昇順に並べ替えることができます。

- 並べ替えの結果は、[保存]ボタンをクリックすることでデータテーブルに記憶することができます。
- 並べ替えの後にレコード追加などの編集を行った場合は、再度フィールド名をクリックして並べ替えを行ってください。



レコードを絞り込む

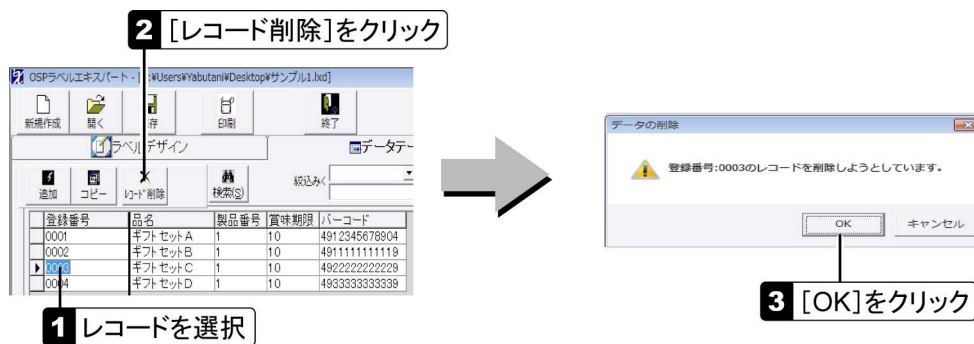
フィールドに含まれる文字列を指定して、表示するレコードを絞り込むことができます。



レコードを削除する

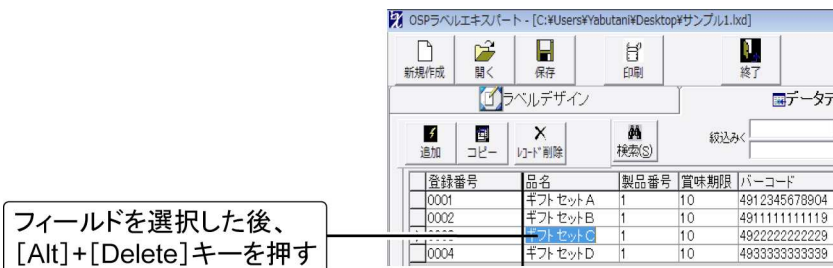
データテーブルからレコードを削除します。レコードを選択するには、レコード内のいずれかのフィールドをクリックしてください。[データテーブル]での操作は取り消すことができません。削除は慎重に行ってください。

- [Shift]を押した状態で[レコード削除]をクリックすると、全レコードを削除することができます。



フィールドのデータを削除する

フィールドからデータを削除するには、フィールドを選択して[Alt] + [Delete]キーを押します。[データテーブル]での操作は取り消すことができません。削除は慎重に行ってください。

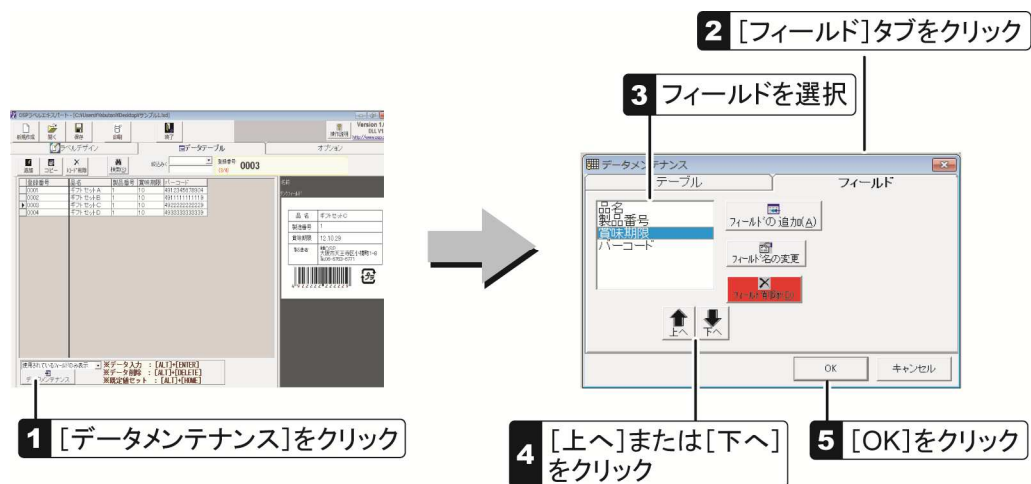


編集時にレコードをロックする

データテーブルの編集時、編集が完了するまで他の作業に移れないようにすることができます。[環境設定] - [基本設定]の[データ編集時レコードロック]にチェックマークを付けてください(p.40)。編集の前に[編集]ボタンをクリックし、完了したら[入力完了]ボタンをクリックして他の作業に移ります。

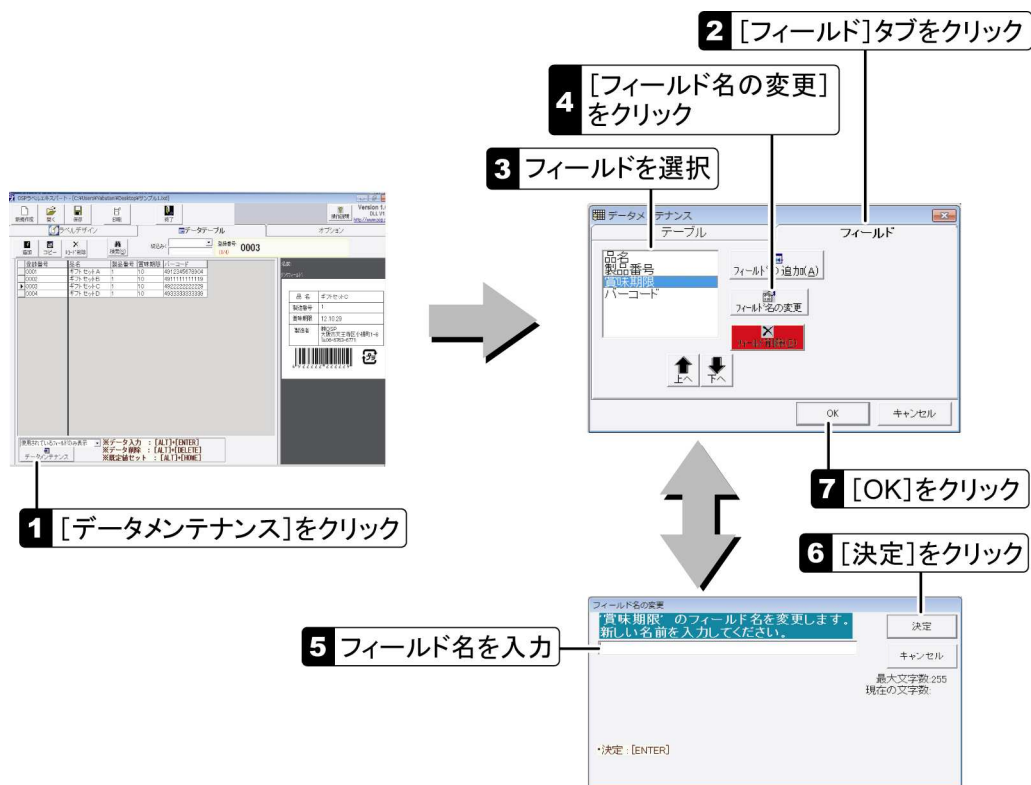
フィールドの表示順を変更する

データテーブルでのフィールドの表示順を変更します。



フィールドの名前を変更する

アイテムにリンクしているフィールドの名前を変更した場合は、ラベルデザイン画面でアイテムの[データフィールド名]を選択し直してください(p.30)。



データテーブルの編集を禁止する

データテーブルは、変更できないようにロックすることができます。詳細は p.41を参照してください。

- [環境設定]ダイアログにはパスワードを設定することができます(p.41)。

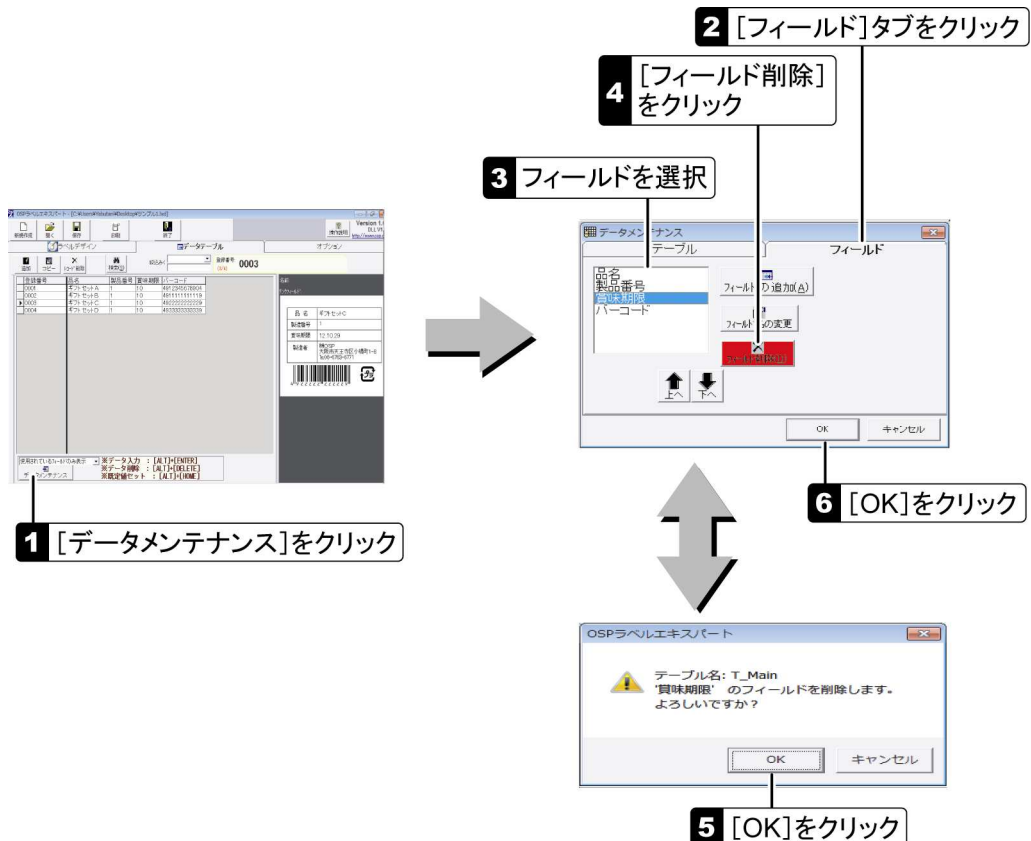
フィールドを追加する

データテーブルに新規のフィールドを追加します。



フィールドを削除する

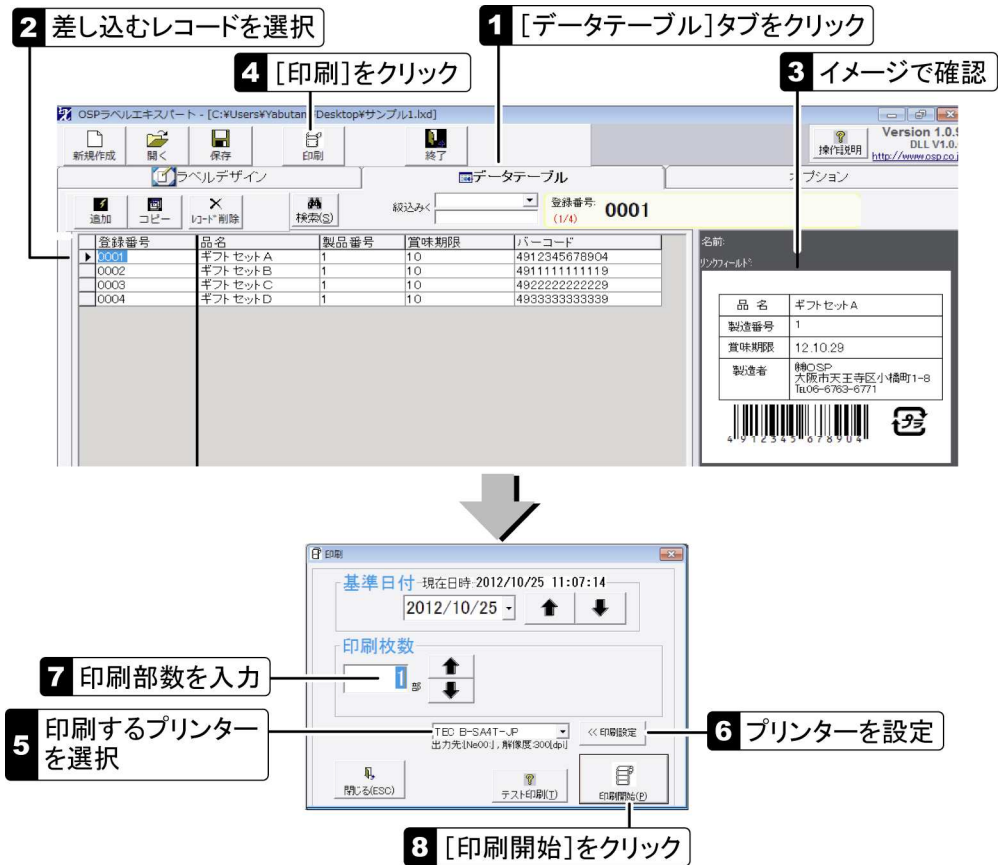
フィールドを削除すると入力されているデータも削除されます。[データテーブル]での操作は取り消すことができません。削除は慎重に行ってください。



ラベルの印刷

差込印刷をする

差し込むデータ(レコード)をデータテーブルから選択して印刷します。[印刷]ダイアログでは、必要に応じて[基準日付]の変更とナンバリングの[開始番号]を設定できます。



■ [印刷]ダイアログ

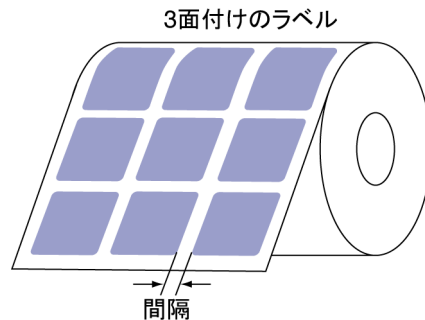
基準日付	日付アイテムの基準となる日付を変更することができます。右側の上下矢印で増減させるか、変更する部分をクリックして数値を入力します。また、▼をクリックして表示されるカレンダーから選択することもできます。日付を変更すると、左側に[変更済]と表示されます。 ● 日付を変更できないように設定することもできます (p.41)。
印刷枚数	印刷するラベルの枚数を設定します。数値を入力するか、右側の上下矢印で増減させてください。ナンバリングを使用している場合は、[同一枚数]に設定されている枚数を1部として印刷します。
ナンバリング	ナンバリングの[開始番号]を設定します。[開始番号]はナンバリングの文字データに設定 (p.15) しておくこともできます。 001 番を 3 枚印刷する場合など、同じ番号を複数枚印刷する場合は、[同一枚数]に枚数を設定します。[ラベルの設定]ダイアログで[面付け数] (p.10)を設定している場合は、[面付け数に合わせる]にチェックマークを付けると、横 1 列に同じ番号が印刷されます (p.36)。
プリンター選択 プルダウン	使用するプリンターを選択します。 ● プリンターを変更した場合、その解像度によっては、モジュール幅を適正な値に変更するかどうかを確認するダイアログが表示されます。
印刷設定	プリンターの設定を行うためのダイアログを表示します。 ● ダイアログの詳細は、プリンタードライバーの取扱説明書を参照してください。
閉じる	[印刷]ダイアログを閉じます。([×]は働きません。)
テスト印刷	印字内容の確認用に 1 枚印刷します。
印刷開始	印刷を開始します。

- その他、テストパターン自動印字など、印刷時の動作を設定できます (p.40)。

■面付けとは

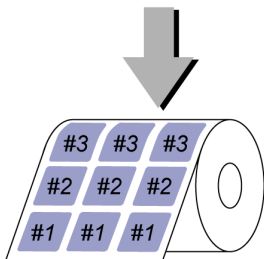
面付けとは、右図のように横に複数列並んだラベルに印刷するための機能です。列数分のラベルデザインを作成する必要はありません。[ラベルの設定]ダイアログ(p.10)の[面付け数]に列数を設定し、列間の隙間を[間隔]に設定するだけで、複数列に印刷できます。

ラベルにナンバリングが含まれている場合、[印刷]ダイアログの[ナンバリング]の設定と印刷される番号は下図のようになります。なお、印刷は[面付け数]単位で行われるため、設定2と設定3では、[印刷枚数]に設定した枚数以上のラベルが印刷されます。



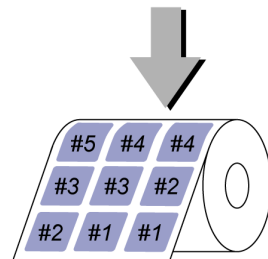
設定1

ナンバリング
開始番号
同一枚数 面付け数に合わせる



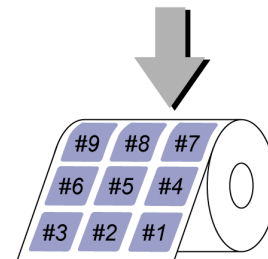
設定2

ナンバリング
開始番号
同一枚数 面付け数に合わせる



設定3

ナンバリング
開始番号
同一枚数 面付け数に合わせる



■すべてのデータを印刷する

[環境設定]の[全データ印刷機能を有効にする](p.40)を設定すると、すべてのレコード(先頭レコード以降)、または現在選択されているレコード以降のすべてのレコードを印刷できます。[印刷]ダイアログで[全データを印刷]にチェックマークを付けて印刷してください。

- 選択されているレコード以降を印刷するには、先頭から印刷するかどうかを確認するダイアログで[いいえ]を選択してください。
- ラベルにナンバリングが含まれている場合は、全データ印刷を行えません。

ラベルデザインを印刷する

差込印刷を行わずに、ラベルデザインを印刷します。[印刷]ダイアログでは、必要に応じて[基準日付]の変更とナンバリングの[開始番号]を設定できます(p.35)。

- [印刷]ダイアログの詳細は p.35を参照してください。

1 [ラベルデザイン]タブをクリック

2 [印刷]をクリック

3 印刷するプリンターを選択

4 プリンターを設定

5 印刷部数を入力

6 [印刷開始]をクリック

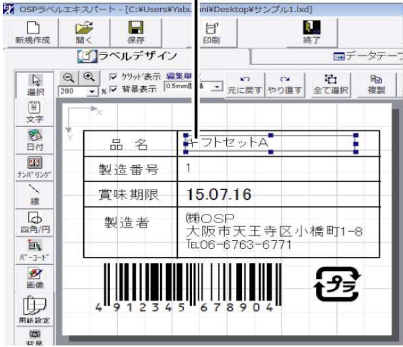
印刷時にデータ変更し印刷する

文字アイテム、バーコードを作成時[印刷時変更可]にチェックを入れる事で印刷時にデータを変更して印刷ができます。


印刷時のみ有効です、入力データは変更されません。

データを登録する時

1 アイテムを選択

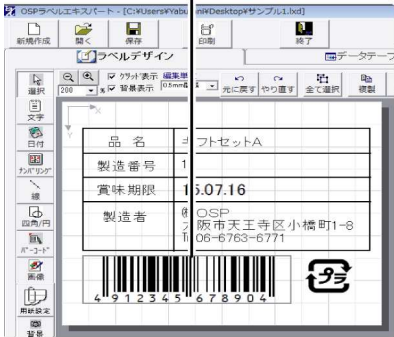


2 [機能]タブをクリック




3 チェックを入れる

1 アイテムを選択



2 [機能]タブをクリック



3 チェックを入れる

データを印刷する時

1 データを変更する



1 データを変更する

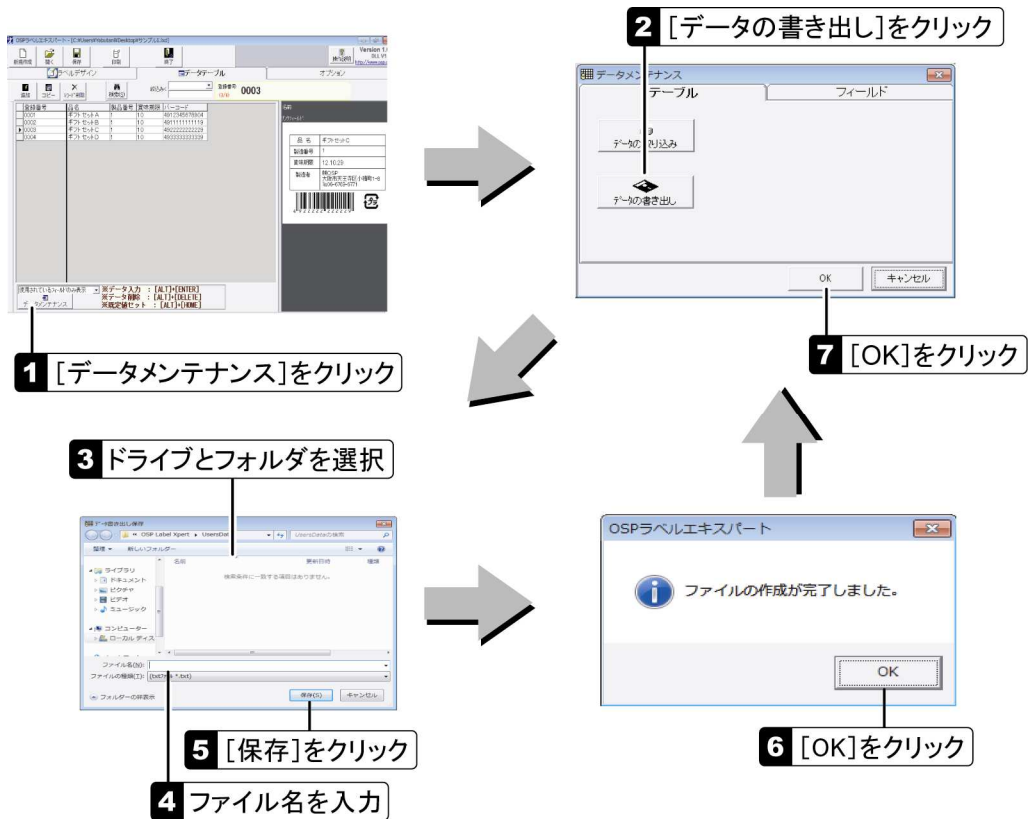


その他の機能

データの書き出しと取り込み

データテーブルのデータを書き出す

データテーブルのデータは、他のアプリケーションで利用できるように、CSV形式のテキストデータに書き出すことができます。

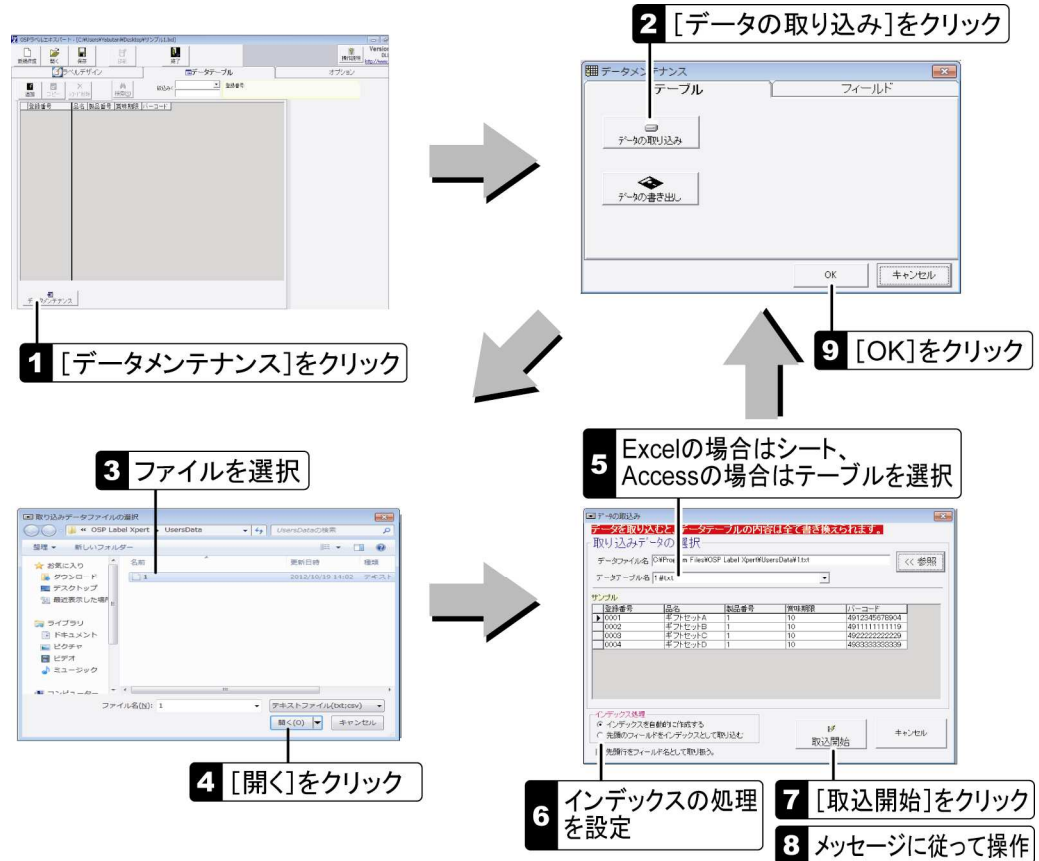


データテーブルにデータを取り込む

他のアプリケーションで作成したファイルから、データを一括して取り込みます。データの取り込みを行うと、現在のデータに上書きされます。既存のデータに追加することはできません。

以下の形式のファイルを取り込むことができます。

- CSV テキストファイル(カンマ・タブ)
- Microsoft® Access 97～2000 データベース(MDB ファイル)
- Microsoft® Excel 95～2000 ワークシート(XLS ファイル)



■ インデックスの処理について

インデックスとは、各レコードを一意に定義するための重複しないデータをいいます。OSP ラベルエキスパートのデータテーブルでは、[登録番号]がインデックスにあたります。

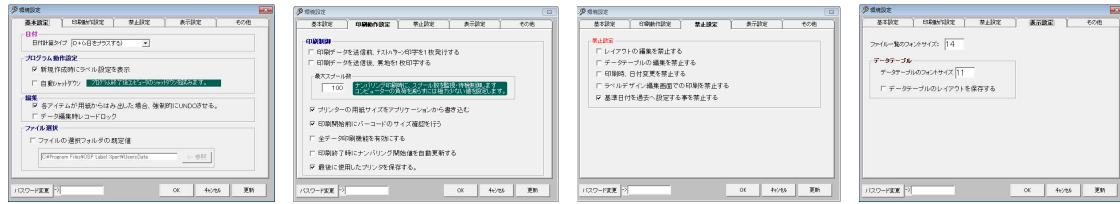
インデックスを自動的に作成する	取り込み時にインデックスとして[登録番号]フィールドを自動的に作成します。
先頭のフィールドをインデックスとして取り込む	取り込むデータの先頭フィールドを[登録番号]として取り込みます。

■ 取り込むデータについて

- CSV ファイルと Excel ワークシート(XLS ファイル)の場合、先頭レコード(1行目)にはフィールド名を記述し、[先頭行をフィールド名として取り扱う]にチェックマークが付けるとフィールド名も取り込むことができます。
- 先頭のフィールドをインデックスとして取り込む場合は、先頭フィールドに重複するデータがないことを確認の上、データの取り込みを行ってください。

環境設定

OSP ラベルエキスパートの動作環境を設定します。[オプション]タブの[環境設定]をクリックして表示してください。



基本設定

日付計算タイプ	<p>日付の計算タイプを設定します。</p> <p>[当日を含む] 当日を「1」とする計算タイプです。翌日の日付にするには、日付データに「2」を設定します。</p> <p>[D+(x 日をプラスする)] 何日後かを指定する計算タイプです。翌日の日付にするには、日付データに「1」を設定します。</p>
新規作成時にラベル設定を表示	[新規作成]をクリックすると[ラベルの設定]ダイアログが表示されるように設定します。
自動シャットダウン	OSP ラベルエキスパート終了後、自動的にパソコンの電源を切ります。 ● パソコンの設定・環境によっては、自動シャットダウンを行えない場合があります。
各アイテムが用紙からはみ出した場合、強制的に UNDO させる	アイテムの複製時など、アイテムがラベル外にはみ出した場合には、直前に行った操作を取り消すよう設定します。
データ編集時レコードロック	データテーブルの編集時、編集が完了するまで他の作業に移れないようにします。編集の前に[編集]ボタンをクリックし、完了したら[入力完了]ボタンをクリックします。
ファイルの選択フォルダの既定値	ラベルファイルを保存または呼び出すフォルダの既定値を設定します。[ファイルの選択フォルダの既定値]にチェックマークを付け、[参照]をクリックして[フォルダの参照]ダイアログで指定してください。

印刷動作設定

印刷データを送信前、テストパターン印字を1枚発行する	印刷データを送信する前に、自動的にテストパターンを1枚印刷します。
印刷データを送信後、無地を1枚印字する	印刷データを送信した後、自動的に無印字のラベルを1枚送ります。
最大スプール数	ナンバリング印刷時にスプール数を監視・制御します。パソコンの負荷を軽減するには、できるだけ小さな値を設定します。
プリンターの用紙サイズをアプリケーションから書き込む	OSP ラベルエキスパートで設定した用紙サイズで印刷します。アプリケーションからの用紙サイズ設定を受け付けないプリンターでは、チェックマークを外し、印刷時にプリンターの印刷設定ダイアログで用紙サイズを指定してください。
印刷開始前にバーコードのサイズ確認を行う	出力するプリンターを変更した場合に、プリンターの解像度に応じてモジュール幅を適正な値に変更するかどうかを確認するダイアログを表示します。
全データ印刷機能を有効にする	[印刷]ダイアログに[全データを印刷]チェックボックスを追加します (p.36)。 ● ラベルにナンバリングが含まれている場合、[全データを印刷]チェックボックスは追加されません。
印刷終了時にナンバリング開始値を自動更新する	次の印刷時、ナンバリングが続きの値から始まるように開始値を更新します。
最後に使用したプリンタを保存する。	最後に使用したプリンタードライバーを[印刷]ダイアログのプリンター選択プルダウンの初期値にします。(チェック無しの場合は通常使うプリンタを初期値にします。)

禁止設定

レイアウトの編集を禁止する	ラベルデザインを編集できないようにロックします。
データテーブルの編集を禁止する	データテーブルを編集できないようにロックします。
印刷時、日付変更を禁止する	[印刷]ダイアログでの基準日付の変更を禁止します。
ラベルデザイン編集画面での印刷を禁止する	ラベルデザイン編集画面で印刷できないようにロックします。
基準日付を過去へ設定する事を禁止する	基準日付を過去日に変更する事を禁止します。

表示設定

ファイル一覧のフォントサイズ	[ファイルの選択]ダイアログでの[ファイルの一覧]の文字サイズを設定します。
データテーブルのフォントサイズ	データテーブルの文字サイズを設定します。
データテーブルのレイアウトを保存する	データテーブルの列幅や行高さなどのレイアウトを保持します。

その他

税率設定	税込価格を求めるための係数を設定します。
------	----------------------

パスワード

[環境設定]ダイアログには、パスワードを設定することができます。[パスワード変更]ボタンをクリックし、パスワードを20文字以内の英数字で入力してください。
パスワードの設定を解除するには、すべての文字を削除してください。

ショートカットキー

ショートカットキーを使うと、頻繁に行う操作をすばやく行うことができます。[Ctrl]キーを押した状態で、もう一つのキーを押してください。

Ctrl + A	全て選択	ラベルデザイン画面ですべてのアイテムを選択します。[全て選択] (p.23)と同じ働きです。
Ctrl + C	コピー	選択状態のアイテムをコピーします。サブメニューの[コピー] (p.26)と同じ働きです。
Ctrl + N	新規	ラベルを新規に作成します。[新規作成] (p.6)と同じ働きです。
Ctrl + O	開く	ラベルを開きます。[開く] (p.6)と同じ働きです。
Ctrl + P	印刷	ラベルを印刷します。[印刷] (p.35)と同じ働きです。
Ctrl + S	保存	ラベルを保存します。[保存] (p.7)と同じ働きです。
Ctrl + V	貼り付け	コピーまたは切り取ったアイテムを貼り付けます。サブメニューの[貼り付け] (p.26)と同じ働きです。
Ctrl + X	切り取り	選択状態のアイテムを切り取ります。
Ctrl + Z	元に戻す	操作を取り消して元の状態に戻します。[元に戻す] (p.20)と同じ働きです。

サポートページを開く

ラベルエキスパートのサポートページを開くには、画面右上の[サポートページ]ボタンをクリックするか、[F1]キーを押してください。

索引

あ

アイテム, 9
アイテムリンク, 21
[アンカー]ボタン, 27
[印刷開始]ボタン, 35
[印刷設定]ボタン, 35
[印刷]ダイアログ, 35
[印刷]ボタン, 35, 36
[印刷動作設定]タブ, 40
[印刷枚数], 35
[印字]ボタン, 28
インデックス, 38
[上へ]ボタン, 33
円, 11

か

[開始番号], 35
[画像]ボタン, 19
[環境設定]ダイアログ, 40
[環境設定]ボタン, 40
基準日付, 35
[機能 1], 22
[機能 2], 22
[機能]タブ, 30
[基本設定]タブ, 40
[禁止設定]タブ, 41
[均等], 25
[グリッド表示]チェックボックス, 10
[桁数指定], 18
[現在のラベル設定を既定値にする]ボタン, 10
[検索]ボタン, 31
[このデータを既定値にする]チェックボックス, 30
[コピー], 26
[コピー]ボタン, 7, 31

さ

[最下に移動], 26
[最上に移動], 26
[サイズ変更], 25
[削除], 27
[削除]ボタン, 8, 27
座標, 9
[四角/円]ボタン, 11
[下へ]ボタン, 33
[絞込み]プルダウン, 32
斜線, 11, 24
[終了]ボタン, 5
ショートカットキー, 41
[新規作成]ボタン, 6
[全て選択]ボタン, 23
[全てに適用]ボタン, 11, 13
[整列], 25
[選択], 24
[選択]ボタン, 23
[選択を絞る], 24
[全データを印刷]チェックボックス, 36
[先頭行をフィールド名として取り扱う]チェックボックス, 39
[線]ボタン, 11

[属性]ツールボックス, 9, 23
画像, 19
線・四角・円, 11
ナンバリング, 15
バーコード, 16
日付, 14
文字, 12, 13

た

[追加]ボタン, 30
[テスト印刷]ボタン, 35
データテーブル, 29
[データの書き出し]ボタン, 37
[データの取り込み]ボタン, 39
[データの入力]ダイアログ, 13
[データフィールド名]プルダウン, 30
[データ編集時レコードロック]チェックボックス, 32, 40
[データメンテナンス]ボタン, 33, 34, 37, 39
[同一枚数], 35
登録番号, 29, 30, 39
特殊機能, 22

な

[名変]ボタン, 8
[名前の変更], 28
[ナンバリング]ボタン, 17

は

[バーコード]ボタン, 16
[背景表示]チェックボックス, 11
[背景]ボタン, 19
[パスワード変更]ボタン, 41
[貼り付け], 26
ハンドル, 24
日付計算タイプ, 14
[日付計算タイプ]プルダウン, 40
[日付]ボタン, 14
表示サイズ, 10
[表示設定]タブ, 41
[開く]ボタン, 6
[ファイルの選択]ダイアログ, 6, 7, 8
フィールド, 29
[フィールド削除]ボタン, 34
[フィールドの追加]ボタン, 34
[フィールド名の変更]ボタン, 33
[複製], 26
[複製]ボタン, 26
[プリンター選択]プルダウン, 35
[編集単位]プルダウン, 10
[保存]ボタン, 7

ま

[面付け数に合わせる]チェックボックス, 35
[文字]ボタン, 12
[元に戻す]ボタン, 20

や

[やり直す]ボタン, 20
[用紙設定]ボタン, 10

ら
ラベルデザイン画面, 9
[ラベルの設定]ダイアログ, 10
[ラベルの背景設定]ダイアログ, 20
[リンク項目参照]ダイアログ, 21
レコード, 29
[レコード削除]ボタン, 32
レコードポインター, 29

大阪シーリング印刷株式会社

本 社 大阪市天王寺区小橋町 1 番 8 号 TEL(06)6763-6771(代)
東京支社 東京都中央区築地 2-11-24 第 29 興和ビル TEL(03)3248-1759(代)
支 店 千葉・横浜・神戸・
営 業 所 北日本・札幌・東北・福島・東京・西東京・長野・新潟・群馬・さいたま・静岡・浜松・名古屋・岐阜・京
都・金沢・南大阪・広島・岡山・米子・四国・松山・高知・福岡・北九州・熊本・鹿児島・沖縄

OSP0070 '20 年 05 月第 11 版

<https://www.osp.co.jp>

お問い合わせは

へどうぞ